



令和5年度（令和4年度対象）
羅臼町教育行政の点検・評価
報告書

羅臼町教育委員会

～ 目 次 ～

第1章	はじめに	1
1	目的	
2	評価の方法	
3	羅臼町教育委員会外部評価委員会	
第2章	羅臼町教育委員会の活動状況	2～5
1	令和4年度教育委員会の開催	
2	教育委員の研修及び活動の状況	
3	条例・規則等の制定、計画等の策定状況	
第3章	教育委員会の組織	6～8
1	機構	
2	事務分掌	
第4章	学校等設置状況	9～10
1	学校等一覧	
2	在校児童・生徒数及び学級数	
3	教員数	
第5章	教育費執行状況	11
第6章	令和4年度教育行政執行方針	12～33
第7章	羅臼町教育大綱	34～39
第8章	令和4年度羅臼町教育の取組みの概要と評価	40～98
1	取組み概要と評価	
2	学校教育に係わるその他の取組み	
3	教育団体等に対する補助金	
第9章	所管施設の利用状況	99
第10章	関係規定	100～102

第1章 はじめに

1 目的

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき教育行政事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、学識経験者の意見を付して議会に提出し公表することを目的としています。

2 評価の方法

令和4年度に教育委員会が取り組んだ学校教育及び社会教育等に関する主要な施策について現状や背景を踏まえ、内部評価を行った上で実績を明らかにした結果を、次のとおりまとめたものです。

- A：当初目的を超える成果
- B：概ね達成できた
- C：目標に至っていない

3 羅臼町教育委員会外部評価委員会

羅臼町教育行政点検・評価にあたっては、各委員により幼稚園、小中学校の現状について各園・各学校の授業参観や管理職の説明を受け状況を把握するほか、教育行政が行った主要な各事業については、各事業の点検評価内容を直接担当課より説明を行うなどしながら、次の4名の各委員から具体的な意見などをいただきます。

氏名	職業	備考
境 智 洋	教育大学釧路校教授	地域学校教育
宮 前 耕 史	教育大学釧路校准教授	地域文化研究室
大 口 茂	-	元羅臼町社会教育委員
山 本 啓 治	-	元教員

尚、委員の任期は令和4年4月1日から令和6年3月31日までとなっています。

第2章 羅臼町教育委員会の活動状況

1 令和4年度教育委員会の開催

羅臼町教育委員会は、毎月1回の定例会と総合教育会議を必要に応じて開催し、教育課題に対する協議を行いました。

会議の開催状況は次の通りです。

開催日	付議案件
令和4年4月27日 第4回定例会	【協議事項】 議案第11号 令和4年度準要保護児童・生徒の認定について 【報告事項】 報告第6号 諸会議・諸行事について
令和4年5月25日 第5回定例会	【協議事項】 議案第12号 令和4年度準要保護児童・生徒の認定について 【報告事項】 報告第7号 諸会議・諸行事について
令和4年6月29日 第6回定例会	【協議事項】 議案第13号 令和4年度一般会計予算補正について 【報告事項】 報告第8号 諸会議・諸行事について
令和4年7月20日 第7回定例会	【報告事項】 報告第9号 諸会議・諸行事について
令和4年8月24日 第8回定例会	【協議事項】 議案第14号 令和4年度一般会計予算補正について 議案第15号 財産の取得について 議案第16号 令和4年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について 【報告事項】 報告第10号 諸会議・諸行事について
令和4年9月21日 第9回定例会	【報告事項】 報告第11号 諸会議・諸行事について
令和4年10月26日 第10回定例会	【報告事項】 報告第12号 諸会議・諸行事について
令和4年11月16日 第11回定例会	【協議事項】 議案第17号 羅臼町図書館について

<p>令和4年11月30日 第12回定例会</p>	<p>【協議事項】 議案第18号 令和4年度一般会計予算補正について 議案第19号 令和4年度全国体力・運動能力調査の公表</p> <p>【報告事項】 報告第13号 諸会議・諸行事について</p>
<p>令和4年12月21日 第13回定例会</p>	<p>【協議事項】 議案第20号 羅臼町立学校就学指定の変更に関する取扱要綱の一部改正について</p> <p>【報告事項】 報告第14号 諸会議・諸行事について</p>
<p>令和5年1月25日 第1回定例会</p>	<p>【協議事項】 議案第1号 令和4年度羅臼町児童・生徒表彰について 議案第2号 令和5年度児童・生徒の就学について 議案第3号 令和5年度学用品費(新入学準備金)早期支給の認定について</p> <p>【報告事項】 報告第1号 令和4年度(令和3年度対象)羅臼町教育行政の点検・評価報告書の策定について 報告第2号 諸会議・諸行事について</p>
<p>令和5年2月22日 第2回定例会</p>	<p>【協議事項】 議案第4号 羅臼町教育大綱の改訂について 議案第5号 令和4年度一般会計予算補正について</p> <p>【報告事項】 報告第3号 諸会議・諸行事について</p>
<p>令和5年3月30日 第3回定例会</p>	<p>【協議事項】 議案第6号 令和5年度準要保護認定について 議案第7号 令和5年度羅臼町奨学資金貸付けについて</p> <p>【報告事項】 報告第4号 諸会議・諸行事について</p>

- i 開催回数：定例会…13回 / 臨時会…0回
- ii 審議事項：協議案件…17件 / 報告案件…13件

2 教育委員の研修及び活動の状況

① 学校行事に関する事項

学校名（幼稚園名）	行事名	日時
羅臼幼稚園	入園式	4月8日（金）
春松幼稚園	入園式	4月8日（金）
羅臼小学校	入学式	4月7日（木）
春松小学校	入学式	4月7日（木）
知床未来中学校	入学式	4月6日（水）
羅臼高等学校	入学式	4月8日（金）

② 社会教育・公民館・郷土資料館に関する事項

i 社会教育委員の会兼図書館協議会

開催日	協議事項
令和4年4月27日 ※参加人数 11名	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度社会教育事業計画について 令和4年度社会教育予算について 令和4年度社会教育関係団体補助金について 令和4年度社会教育関係各種研修会の日程について
令和4年5月20日 ※参加人数 9名	<ul style="list-style-type: none"> 羅臼町図書館基本構想（案）について
令和4年8月17日 ※参加人数 10名	<ul style="list-style-type: none"> 羅臼町図書館基本構想に係る配置図（案）について その他（第61回北海道社会教育研究大会について）
令和4年12月16日 ※参加人数 9名	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度社会教育事業進捗状況について 各種研修会について 令和4年度羅臼町児童生徒表彰について 羅臼町図書館の進捗状況について
令和5年2月22日 ※参加人数 11名	<ul style="list-style-type: none"> 学務課からの情報提供 羅臼町図書館実施設計の進捗について
令和5年3月28日 ※参加人数 8名	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度羅臼町単年度事業反省評価票について 羅臼町第9次社会教育中期計画について 図書館実施設計について

ii スポーツ推進委員会

開催日	協議事項
令和4年5月16日 ※参加人数 7名	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度社会教育事業計画単年度計画について 令和4年度羅臼町社会体育予算について 令和4年度社会教育関係団体補助金について 令和4年度各種総会・研修会等の日程について 町内社会体育施設開放状況について
令和5年1月24日 ※参加人数 4名	<ul style="list-style-type: none"> 根室管内スポーツ交歓大会の中止について クナシリ眺望駅伝競走大会の中止について 北海道スポーツ推進委員研究協議会について 中学校部活動の地域移行について
令和5年3月17日 ※参加人数 4名	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度羅臼町単年度反省評価票について 羅臼町第9次社会教育中期計画について 中学校部活動の地域移行について

iii 文化財保護調査委員会

開催日	協議事項
令和4年4月22日 ※参加人数 5名	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度文化財調査費について <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度文化財保護事業計画について 天然記念物指定鳥類保護監視員の委嘱について
令和4年10月12日 ※参加人数 5名	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度4～10月までに実施した事業について 郷土資料館北方四島展示室・知床いぶき樽展示室の開設について
令和5年3月16日 ※参加人数 6名	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度10～3月までに実施した事業について <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第9次社会教育中期計画策定員の選出について

③ その他

i 教育委員の幼稚園・学校訪問

開催日：令和4年6月23日（木）

出席者：石崎教育長、萬屋委員、葛西委員、芦崎委員、佐々木委員

3 条例・規則等の制定、計画等の策定状況

議案番号	条例・規則等の制定、計画等名	担当課
【令和4年度】 議案第20号 議案第4号	羅臼町立学校就学指定の変更に関する取扱要綱の一部改正について 羅臼町教育大綱の改訂について	学務課 学務課

第3章 教育委員会の組織

1 機構

ア 教育委員会委員

(令和4年4月1日現在)

職名	氏名	就任年月日	任期
教育長	石崎佳典	令和4年4月1日	令和4年4月1日から 令和4年9月30日まで
委員 (教育長職務代理者)	萬屋志都子	平成18年1月1日	令和元年10月1日から 令和5年9月30日まで
委員	葛西良浩	平成28年10月1日	令和2年10月1日から 令和6年9月30日まで
委員	芦崎拓也	平成30年10月1日	平成30年10月1日から 令和4年9月30日まで
委員	佐々木美穂	令和4年1月25日	令和4年1月25日から 令和8年1月24日まで

イ 教育委員会分掌配置

(令和4年4月1日現在)

区分	所属	職員数	その他職員	合計
事務局	教育指導主幹	-	1人	1人
	特別支援教育主幹	-	1人(1人)	1人(1人)
	学務課	7人(2人)	-	7人(2人)
	社会教育課	5人(2人)	-	5人(2人)
	図書館	3人(2人)	-	3人(2人)
	郷土資料館	2人(1人)	-	2人(1人)
	学校給食センター	4人(2人)	-	4人(2人)
幼稚園	羅臼幼稚園	9人	4人	13人
	春松幼稚園	8人	2人	10人
合計		38人(9人)	8人(1人)	46人(10人)

※ () は、職員数のうち他の職と兼(併)任している職員数

※ その他職員…会計年度任用職員、再任用職員

2 事務分掌

【主幹】

(教育指導主幹)

- (1) 学校及び幼稚園運営に関する専門的事項の指導助言に関すること。
- (2) 学校教育における生徒指導などの教育相談に関すること。
- (3) 社会教育にかかわる専門的事項に関すること。
- (4) 生涯学習推進のための啓発に関すること。
- (5) 研修及び調査研究に関すること。

【学務課】

(総務管理係)

- (1) 教育委員会の会議に関すること。
- (2) 教育費予算編成並びに予算執行の総括に関すること。
- (3) 交際及び儀式（成人式を除く。）に関すること。
- (4) 請願及び要望に関すること。
- (5) 公文書物品の発受並びに保管に関すること。
- (6) 法規関係の整備に関すること。
- (7) 公示及び令達に関すること。
- (8) 公印の保管に関すること。
- (9) 町長部局及び議会事務局との連絡に関すること。
- (10) 条例及び教育委員会規則、規程等の制定又は改廃の総括に関すること。
- (11) 褒章、表彰に関すること。
- (12) 事務局及び施設職員の人事、給与に関すること。
- (13) 学校、その他教育施設の設置及び廃止に関すること。
- (14) 学校等経理事務及び指導に関すること。
- (15) 学務課所管にかかわる経理事務に関すること。
- (16) 他課、係の分掌に定める以外の教育調査及び統計に関すること。
- (17) 奨学資金等に関すること。
- (18) 町職員及び教職員の組合に関すること。
- (19) 教育事務の総合調整に関すること。
- (20) 教育委員会事務局職員及び教職員のレクリエーション、互助会等に関すること。
- (21) 教職員の健康管理に関すること。
- (22) 学校、教職員住宅及び教育施設の新、増、改築等の計画に関すること。
- (23) 文教施設整備の調査及び申請に関すること。
- (24) 学校、その他教育施設及び教職員住宅の用地調査、管理、営繕に関すること。
- (25) 学校適正配置計画に関すること。
- (26) 学校給食センターの管理運営に関すること。
- (27) その他、他係に属さない事項

(学校教育係)

- (1) 学校及び幼稚園の管理運営に関すること。
- (2) 教育課程の編成指導及び諸報告、届出の取扱いに関すること。
- (3) 学令簿及び学級編成に関すること。
- (4) 通学、通園区域に関すること。
- (5) 教科書及びその他教材の取扱いに関すること。
- (6) 教材、備品等の整備充実に関すること。
- (7) 学校及び幼稚園施設の利用に関すること（学校開放事業は除く。）。
- (8) 学校教育にかかわる調査及び統計に関すること。
- (9) 教職員の人事、服務及び給与に関すること。
- (10) 教職員の研修及び研究指定校に関すること。
- (11) 教職員の免許状及び資格向上に関すること。
- (12) 中高一貫教育推進に関すること。
- (13) 園児、児童、生徒の就学（園）及び入退学（園）に関すること。
- (14) 保護家庭児童生徒の援助に関すること。
- (15) 園児、児童、生徒の通学援助に関すること。
- (16) 園児、児童、生徒の事故報告に関すること。
- (17) 学校及び幼稚園の保健全般に関すること。
- (18) 学校行事審議会に関すること。
- (19) その他一般的学校教育に関すること。

【社会教育課】

(社会教育係)

- (1) 社会教育委員及び会議に関する事。
- (2) 社会教育計画に関する事。
- (3) 他係に属さない各種委員会等に関する事。
- (4) 社会教育施設の設置及び管理運営に関する事。
- (5) 成人式に関する事。
- (6) 幼児及び少年教育、家庭教育に関する事。
- (7) 青年及び成人教育、女性教育に関する事。
- (8) 高齢者教育に関する事。
- (9) 社会教育関係団体の育成指導に関する事。
- (10) 文字・活字文化振興に関する事。
- (11) 芸術、文化活動の助長、促進に関する事。
- (12) 社会教育関係の一般的経理事務に関する事。
- (13) その他一般的社会教育に関する事。

(社会教育指導班)

- (1) 生涯学習推進にかかわる調査、研究、指導助言に関する事。
- (2) 社会教育、公民館、社会体育事業にかかわる指導助言、総合調整に関する事。
- (3) 社会教育推進のための調査、研究、計画に関する事。
- (4) 他機関及び社会教育関係機関と連携する事業等にかかわる指導助言に関する事。
- (5) 青少年非行防止の指導相談に関する事。
- (6) 青少年健全育成にかかわる相談事業に関する事。
- (7) 各種関係資料の収集及び情報提供に関する事。

(社会教育相談員)

- (1) 学習相談窓口の設置、対応に関する事。
- (2) 学校週5日制に関する事。
- (3) 生涯学習推進のための情報提供及び地域の情報収集に関する事。
- (4) 各種社会教育事業に関する指導助言
- (5) 各種社会教育関係機関、団体の育成、指導に関する事。

(スポーツ振興係)

- (1) 社会体育振興計画に関する事。
- (2) 町民体育、スポーツの普及振興及び指導に関する事。
- (3) 社会体育団体の育成指導に関する事。
- (4) スポーツ推進委員及びスポーツ指導員に関する事。
- (5) 学校体育関係事業に関する事。
- (6) 体育館の管理及び運営に関する事。
- (7) 社会体育関係一般的経理事務に関する事。
- (8) スポーツ傷害保険に関する事。
- (9) その他体育振興に関する事。

【図書館】

(図書係)

- (1) 図書館活動の計画作成に関する事。
- (2) 図書及び資料の収集と保存に関する事。
- (3) 図書及び資料の除籍及び蔵書に関する事。
- (4) 図書館事業の企画立案及び実施に関する事。
- (5) 各種団体、機関等の連絡・連携に関する事。
- (6) 図書館協議会に関する事。
- (7) 図書館施設・設備の管理運営に関する事。

【郷土資料館】

(文化財保護係)

- (1) 文化財保護及び調査に関する事。
- (2) 銃砲刀剣類の登録に関する事。
- (3) 文化財保護調査委員に関する事。
- (4) 天然記念物指定鳥類保護監視員に関する事。
- (5) 郷土資料館の管理運営に関する事。

第4章 学校等設置状況

1 学校等一覧

(令和4年4月1日現在)

あ) 小学校

学 校 名	校 長	教 頭	開校年月日	へき地指定
羅臼小学校	西 田 威 嗣	佐 藤 英 雄	明治26年 6月12日	2級
春松小学校	藤 吉 桂 子	瀬 川 航 平	明治33年11月 2日	2級

い) 中学校

学 校 名	校 長	教 頭	開校年月日	へき地指定
知床未来中学校	野 呂 幸 生	田 中 陽 一	平成30年 4月 1日	2級

う) 高等学校

学 校 名	校 長	教 頭	開校年月日	へき地指定
羅臼高等学校	伊 藤 新 一 郎	嶽 山 敏 嗣	昭和50年 4月 1日	2級

え) 幼稚園

園 名	園 長	副 園 長	開校年月日	へき地指定
羅臼幼稚園	官 代 眞由美	藤 本 郁 美	平成19年 4月 1日	2級
春松幼稚園	高 原 美 樹	田 中 寿 子	平成19年 4月 1日	2級

2 在校児童・生徒数及び学級数

(令和4年4月1日現在)

区分	児童生徒数							学級数			
	1年生 (年少)	2年生 (年中)	3年生 (年長)	4年生	5年生	6年生	計	普通	特別 支援	計	
小学校	羅臼小学校	21	22	12	22	30	24	131	6	4	10
	春松小学校	8	9	16	15	18	13	79	6	3	9
	小 計	29	31	28	37	48	37	210	12	7	19
中学校	知床未来 中学校	30	37	41				108	3	4	7
高等学校	羅 臼 高等学校	21	7	39				67	3	-	3
幼稚園	羅臼幼稚園	12	16	18				46	3	-	3
	春松幼稚園	6	13	15				34	3	-	3
	小 計	18	29	33				80	3	-	3

3 教員数

(令和4年4月1日現在)

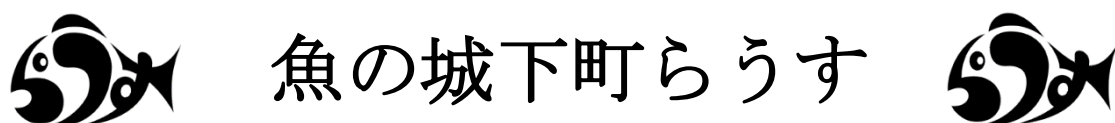
区分	校長 園長	教頭 副園長	教諭		養護 教諭	事務 職員	栄養 教諭	公務補	計	
			普通	特別 支援						
小学校	羅臼小学校	1	1	10	5	1	1	1	1	21
	春松小学校	1	1	8	4	1	1	-	1	17
	小 計	2	2	18	9	2	2	1	2	38
中学校	知床未来 中学校	1	1	7	5	1	2	-	1	18
高等学校	羅 臼 高等学校	1	1	11	-	1	3	-	1	18
幼稚園	羅臼幼稚園	1	1	8	-	-	-	-	-	10
	春松幼稚園	1	1	6	-	-	-	-	-	8
	小 計	2	2	14	-	-	-	-	-	18

第5章 教育費執行状況

令和4年度予算執行状況については、教育費予算額4億6,751万6,351円に対し、支出済額は4億4,564万3,561円（執行率95.3%）で、不用額は、2,187万2,790円となりました。また、各項別の支出額と教育費の支出額に占める割合は次のとおりです。

款	項	予算額(円)	支出額(円)	割合(%)
教育費	-	467,516,351	445,643,561	100.0
	1. 教育総務費	91,598,074	81,250,624	18.2
	2. 小学校費	54,013,897	51,928,990	11.7
	3. 中学校費	25,374,000	23,561,685	5.3
	4. 幼稚園費	23,712,000	22,834,197	5.1
	5. 社会教育費	115,233,380	110,793,759	24.9
	6. 保健体育費	157,585,000	155,274,306	34.8

令和4年度 教育行政執行方針



持続可能な未来へ
.....
羅臼町教育委員会

目 次

1. はじめに
2. 羅臼町における教育行政推進の基本姿勢
3. 主要施策の推進	
(1) 社会で生きる力の育成
(2) 羅臼町の未来を拓く人材の育成
(3) 生涯学習や芸術文化・スポーツの振興
4. おわりに

令和4年度教育行政執行方針

教育長 和田 宏 一

1. はじめに

令和4年羅臼町議会第1回定例会の開催にあたり、教育行政の基本姿勢および主要な施策について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響が依然として大きい昨今、新たな生活様式として、マスクの着用や三密の回避、消毒作業などの感染症対策が日常化し、これまでの生活や人々の価値観が大きく様変わりする中、学校教育の在り方もまた大きく変化をしてくれており、従来の知識や経験だけでは解を見出すことが難しい時代となっています。

また、学校現場において、ICT化が急速に普及をする中、児童生徒一人ひとりには、情報モラルや情報リテラシーといった、情報を扱う上での道徳心、大量の情報の中から必要なものを収集し、分析・活用する知識や技能の習得が求められてきます。

依然として回復の兆しが見えない人口減少やますます加速化するグローバル化への対応、持続可能な地域づくりのための環境教育の充実などの取組を、SDGs 17の目標を念頭に行うことにより、次代を担う子ども達が豊かな語学力やコミュニケーション能力、主体性・積極性、異文化理解の精神等を身に付け、様々な分野で活躍できるよう育成することが大切です。

当町の豊かな自然環境や歴史・文化のもとで、子ども達がふるさとに誇りと愛着を持ち、共に支え合い、自らの感性や創造性を磨き、無限の可能性を発揮する逞しい人材へと成長していくことができるよう、「羅臼町教育大綱」を基に、町民の皆様と様々な分野について広く緊密な連携を図りながら、教育の充実・発展に取り組んでまいります。

2. 羅臼町における教育行政推進の基本姿勢

こうした認識のもと、教育行政に臨む基本姿勢を申し上げます。

当町の教育目標である「ふるさと羅臼の躍進を創造し、いきいきと逞しく行動する心豊かな町民の育成」の実現に向け、SDGs 17の目標を念頭に、羅臼町教育大綱で示されている「社会で生きる力の育成」、「羅臼町の未来を拓く人材の育成」、「生涯学習や芸術文化・スポーツの振興」の3項目を大きな柱とした施策の推進を行います。

また、大きく変化し続ける社会において、誰一人取り残すことなく、全ての子ども達一人ひとりが質の高い個別最適な学びと協働的な学びを受けることができるよう、「学びを止めない」、「心を近づける」教育を推進し、学力・体力の向上をはじめとする郷土愛に満ちた教育施策を充実してまいります。

この先、当町が持続的に発展していくには、人材の確保とともに人材の育成が必要不可欠であり、学校教育での次代を担う子ども達の育成と社会教育での現在を支える青年層の育成を通し、地域の活力を支える教育行政を推進してまいります。

3. 主要施策の推進

次に、主要な施策の概要を申し上げます。

(1) 社会で生きる力の育成

はじめに、「社会で生きる力の育成」についてであります。

平成24年に現在の「羅臼町幼小中高一貫教育推進協議会」の前身である「羅臼町幼小中高一貫教育研究会」が組織されてから、当町の幼小中高一貫教育の取組は10年を経過しました。

本年度は、昨年度制定した幼小中高の共通の研究主題と、「羅臼町学力向上プラン」に基づき、校種を越えて連携を深め、確かな学力の育成に取り組むとともに、成果の発表の場として、幼稚園・小中学校ごとに公開授業研究会を開催し、授業の検証を行います。

また、教師個々の授業力を高めることが、学力向上に大きく関わることから、校内研修、幼小中高を対象とした合同研修会のほか道立教育研究所と連携した研修講座を実施するとともに、知床未来中学校においては、北海道教育大学付属釧路義務教育学校後期課程と連携した研修を実施し、教師の授業力向上に努めます。

さらに、「羅臼町幼小中高一貫教育推進協議会」の組織再編を行い、全教職員に役割を持たせることにより、幼小中高一貫教育を一層推進させ、SDGsの4番目の目標である「質の高い教育をみんなに」を目指します。

確かな学力の育成には、言語活動や探求的な学習の充実が必要であり、継続して学校司書を配置し、各校を巡回することにより、学校図書館の更なる機能の向上を図ります。

また、図書館司書と連携した読書活動等を通じて、園児児童生徒の豊かな人間性の育成に努めるほか、不足していると言われる家庭での読書を推進するため、家読（うちどく）活動に取り組み、「4質の高い教育をみんなに」を目指します。

「健やかな体を育む教育」に関し、小学校において実施した体育専科教員活用事業及び体育エキスパート教員巡回指導事業における授業改善の成果を継承します。

また、全学年で実施している新体力テストを通じ、児童生徒の実態を把握し、体育科の指導内容・指導方法の更なる工夫改善に努め、体力の向上を目指します。

さらに、児童生徒が栄養バランスの取れた食事を行うことができるよう、栄養教諭を活用した継続的な食育指導を計画的に行い、食に関する知識とバランスの良い健全な食生活を実践できる力を育み、「3 すべての人に健康と福祉を」「4 質の高い教育をみんなに」を目指します。

「いじめ」は、どの子どもにも、どの学校においても起こり得るものとして、日常からの未然防止、早期発見、早期対応に努めるという意識が大切であります。

「羅臼町いじめ防止基本方針」に基づき、「いじめは人間として絶対に許されない」という毅然とした態度で取り組むとともに、学校・家庭・地域、その他関係機関の連携・協力のもと、日頃よりいじめに対する適切な対応に努め、「5 ジェンダー平等を実現しよう」「16 平和と公正をすべての人に」を目指します。

幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基盤を培う上で大変重要なものであることから、幼稚園での活動全体を通して、幼稚園教育要領で定める「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」への育

みを実現させる質の高い教育を提供できるよう関係機関と連携し、教員のニーズに応じた研修の充実を図り、「4 質の高い教育をみんなに」を目指します。

児童が義務教育の始まりにスムーズに適応していくことができるよう構成した「スタートカリキュラム」の編成実施にあたっては、幼稚園・小学校それぞれの役割を果たし、相互の幼児児童の実態や指導方法について理解を深め、広い視野に立って幼児児童に対する連続性・一貫性のある教育を相互に協力しあうよう努めます。

さらに、ALT（外国語指導助手）による外国語活動を年少児から年長児までのすべてで実施し、園児が楽しく英語に触れる機会を持たせ、「4 質の高い教育をみんなに」を目指します。

特別支援教育は、特別な支援が必要な子どもの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を克服あるいは改善するため、適切な支援を行うことが必要です。

幼稚園や小中学校の特別支援教育コーディネーター等を中心に、

保護者や関係機関と連携した支援体制の充実に努め、個別の支援計画「こんぱす」の一層の活用を促進するとともに、より一人ひとりのニーズに沿った学習とするための指導計画を作成し、切れ目のない一貫した支援を目指します。

また、専門的な知識をもって指導できるよう、指導者への研修機会の充実に努めるとともに、支援が必要な子どもを持つ保護者へのサポート体制として個別面談や研修会を充実させ、「3 すべての人に健康と福祉を」「4 質の高い教育をみんなに」を目指します。

健やかな子の成長を願い、地域全体で子ども達の学びを支援し、地域とともにある学校づくりを行うため「羅臼町学校運営協議会」を設置し、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指して、地域の協力を得ながら取り組んでおります。

今年度も各学校区に配置しました3名の地域コーディネーターと連携を密にしながら、更なる組織強化を図るとともに、子どもの教育を軸として、学校教育と社会教育とが協働・連携を図り、地域の教育力を充実させることにより、「4 質の高い教育をみんなに」

「11 住み続けられるまちづくりを」「17 パートナリシップで目標を達成しよう」を目指します。

子ども達の安全・安心で健やかな育ちの基盤である家庭の教育力向上につきましては、多様化する家庭状況にあっても等しく教育力を高めるため、子ども達の望ましい生活習慣の定着に結びつけ、子ども達の健やかな成長と自律、親力向上の研修の機会として、親子で参加する体験型の学習会等を開催し、「1 貧困をなくそう」「4 質の高い教育をみんなに」を目指します。

I C Tを活用した教育では、登校が困難な状況下であっても、「学びを止めない」教育環境実現のため、これまで一人一台端末の整備のほか、すべての小中学校において、遠隔授業を行える環境を整備し、実際に遠隔授業を実施してきております。

また、デジタル教科書について、一部教科で導入しておりますが、本年度はさらに教科数を拡大するとともに、デジタル教科書を活用した授業の指導方法工夫改善に向け研修の機会を設け、I C Tの特性を生かし、個に応じた学習の充実が図れるよう努めます。

なお、急速に進む情報化社会に伴い、インターネットやS N Sを活用する機会が増加し、様々なトラブルも増加しています。児童生徒に「情報モラル」を身につけ思いやりのある行動がとれるように、

また、情報をすべて鵜呑みにするのではなく、客観的に判断する能力を育てるための「情報リテラシー教育」に力を入れることで、「4 質の高い教育をみんなに」を目指します。

各学校では、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、子ども達の学びを最大限に保障するという観点に立って学校教育活動に取り組んでいます。こうした教員の業務負担増を軽減するためにも、より実効性のある働き方改革の取組を一層進めていく必要があります。

第1期羅臼町アクション・プランによる学校閉庁日や部活動休養日の設定は当初の目標を達成し、一定の定着が図られていますが、さらに働き方改革の理念を正しく理解し、すべての教職員に勤務時間を意識した働き方の実現を目指すため、教職員の時間外在校等時間の公表を行うとともに、令和4年度からの「第2期羅臼町アクション・プラン」を推進し、「3 すべての人に健康と福祉を」「4 質の高い教育をみんなに」「8 働きがいも経済成長も」を目指します。

教育施設に求められる機能・性能を長期にわたり確保することを目的とした「羅臼町教育施設等長寿命化計画」に則り、本年度は羅臼幼稚園の照明のLED化を実施し、教育環境の充実を図ることにより、「11 住み続けられるまちづくりを」「12 つくる責任 つかう責任」を目指します。

(2) 羅臼町の未来を拓く人材の育成

次に、「羅臼町の未来を拓く人材の育成」についてであります。

羅臼高等学校は、近年のグローバル化や情報化の進展などの社会の急速な変化や、生徒の興味・関心、進路希望等の多様化、中学校卒業生数の減少などの環境の変化に対応し、未来を担う人材を育む教育機能の維持向上を図るため、生徒や保護者にとって進学したいと思える魅力ある学校づくりを進めております。

教育委員会では、その様々な取組を支援するとともに、持続可能な環境や魅力ある学校づくりに向けた取組について羅臼高校や関係機関等と連携・協議し、「9 産業と技術革新の基盤をつくろう」

「11 住み続けられるまちづくりを」を目指します。

当町では、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育を推進するため、平成24年度より、町内の幼小中高全ての学校をユネスコスクールに登録し、海の豊かさや陸の豊かさを守る取組の達成に向け知床学として「クマ学習」、「生態系学習」や「海洋教育」、「キャリア教育」などに取り組んできております。

特にその中心となる「海洋教育」については、令和元年度から町内全ての幼稚園・学校が「海洋教育パイオニアスクールプロジェクト」の指定を受け、教材開発と授業実践に取り組んできました。

本年度は、知床学の副読本の改訂を行うとともに、パイオニアスクールプロジェクトの先進校や先進地を視察し、意見交換や課題協議を行い、「海洋教育」の発展に努めてまいります。

E S Dを推進してきた当町は、新たにゼロ・カーボンの目標を追加し、S D G sという具体的ゴールに向かい、これらの理解を深めるため、また、「ふるさと教育」の充実のためにも教職員の研修機会の充実と「ユネスコスクール発表会」などを通じて情報発信を推進することにより、「1 1 住み続けられるまちづくりを」「1 3 気候変動に具体的な対策を」「1 4 海の豊かさを守ろう」「1 5 陸の豊かさも守ろう」を目指します。

キャリア教育は、子ども達が将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たして、自分らしい生き方を実現する力を身につけさせるものであり、小学校1年生から中学校3年生までの9年間を見通した「羅臼町版キャリアパスポート」により、それぞ

れの個性に応じた進路の実現に繋がるよう努めます。

また、各種関係団体との連携のもと、当町の基幹産業である水産業をはじめ、酪農や観光業、食品加工業など多種多様な職業体験の場の確保に努め、児童生徒の将来の職業選択の幅を広げさせることにより、「8 働きがいも経済成長も」を目指します。

世界自然遺産「知床」の地である当町にとって、海外への情報発信や多様な国との交流を図ることは大切であり、そのためのグローバル人材の育成に力を入れていくこととしています。

昨年度に引き続き、英語教育の充実のためALT（外国語指導助手）を2名体制にするとともに、「地域おこし協力隊」を活用し、授業のほかにイングリッシュキャンプを実施するなど、子ども達が日常的に英語によるコミュニケーションができる力を育ててまいります。

また、児童生徒が自らの英語力の向上を体感し、更なる高みを望む意欲を醸成するため、小学校5年生から実用英語技能検定への受験を促し、将来的には中学校3年生卒業時に実用英語技能検定3級合格率50%、高校3年生卒業時には準2級から2級程度の合格率

30%を引き続き目指してまいります。

さらに、各小中学校及び高等学校における知床学の学習の成果発表を英語で行うこととし、世界に向け発信することによって、

「4 質の高い教育をみんなに」 「17 パートナーシップで目標を達成しよう」を目指します。

(3) 生涯学習や芸術文化・スポーツの振興

次に「生涯学習や芸術文化・スポーツの振興」についてであります。

現代社会においては、生涯学習を通して豊かな心を育み教養を高めることはもとより、情報化社会を生き抜く術を身につけることが必要とされています。

現在、図書館は、役場1階に開設し、町民の読書活動を継続しております。しかし、施設が狭く開架冊数や図書館機能が限られ、十分な図書サービスが行えていないことから、代替施設も含め、今後のあり方についての協議・議論を加速させてまいります。

また、「第2期子どもの読書活動推進計画」により、子ども達の読書習慣の定着や家庭での読書の取組を推進し「1 貧困をなくそう」「4 質の高い教育をみんなに」を目指します。

当町の社会教育は、「第8次社会教育中期計画」（令和2年度から令和5年度）に基づき、各種事業を実施しており、その効果・検証を行い、地域に誇りと愛着を持ち、主体的に行動できる町民の育成を

目指したふるさと学習を推進し、「11 住み続けられるまちづくりを」を目指します。

公民館については、多様な学習機会や集会の場として、地域における住民の学習要求等に総合的に応える社会教育施設であり、地域社会の形成や地域文化の振興に大いに貢献する日常生活に最も身近な生涯学習の施設として重要であると認識しております。

今後の公民館のあり方につきましては、引き続き関係団体等と意見交換を行いながら検討し、「4 質の高い教育をみんなに」「17 パートナーシップで目標を達成しよう」を目指します。

郷土資料館では、羅臼の歴史・文化・自然についての資料展示や継続的な文化財保護活動を行っております。

当町の歴史、文化を伝承し、郷土に誇りと愛着を持つ子ども達の育成を図るため、町内の小中高のふるさと学習において、旧石器時代からオホーツク文化やアイヌ文化、近代の羅臼に至るまでの歴史や生活、文化について学習する機会の提供を図り、「4 質の高い教育をみんなに」「11 住み続けられるまちづくりを」を目指します。

防災教育につきましては、児童生徒の安全確保の観点から、地震や津波、台風などの自然災害時において、自ら身を守る能力を育むため、本年度、北海道実践的安全教育モデル構築事業の指定を受け、大学や防災関係者による講演や授業等を行い、地域住民や児童生徒の防災意識を高め、「11 住み続けられるまちづくりを」を目指します。

文化・芸術活動の振興につきましては、町民がつながり、心を結ぶ地域づくりとなるよう団体・サークル等と連携し、芸術文化鑑賞の機会提供や活動成果の発表機会の充実を図ります。

また、本町の文化発展に寄与することを目的とした羅臼町文化協会をはじめ各種サークルの活動にあたって、持続可能な活動とするためには青年層の参加を促す必要があり、若者にも魅力ある企画の展開や、芸術文化の発展をするための支援等を行い、「11 住み続けられるまちづくりを」 「17 パートナースhipで目標を達成しよう」を目指します。

スポーツ活動の推進につきましては、昨年7月に町民体育館（らすぽ）がリニューアル・オープンし、徐々に活気を取り戻ってきて

おります。

また新しく子ども向けのプレイルームを設置したことから、親子での利用が増加しております。

町民の健康増進や誰もが参加しやすいスポーツ事業の展開を図るため、親子で参加できる機会の提供や高齢者向けの教室等、スポーツ関係団体と連携した社会体育活動を推進し、「3 すべての人に健康と福祉を」「11 住み続けられるまちづくりを」を目指します。

4. おわりに

以上、令和4年度に取り組む主要な施策を申し上げました。

新型コロナウイルス感染症対策が引き続き行われる中、園児児童生徒が健やかで豊かな学びが続けられる地域づくりを推進するためには、学校・家庭・地域・行政の緊密な連携と、深い理解が不可欠です。

知床学をはじめとするふるさと教育を核としたE S D（持続可能な開発のための教育）を推進し、持続可能な教育環境の整備に努め、羅臼町の教育の充実・発展に取り組んでまいります。

議員の皆様をはじめ、町民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

羅 臼 町 教 育 大 綱

＝魚の城下町らうす＝



創造から行動へ

羅 臼 町

令和元年4月1日 決定版

目 次

はじめに

【教育の大綱】

- ◆大綱の策定について
- ◆羅臼町民憲章
- ◆羅臼町教育目標
- ◆羅臼町教育の基本方針

【実施施策】

- ◆取組を進める分野
- ◆各分野における取組方針

◆はじめに

羅臼町では、子どもたちの学力や体力の向上をはじめ、望ましい生活習慣の定着やいじめの根絶、豊かな心の育成、障がいのある子どもたちへの支援など、多くの教育課題があります。また、家庭の教育力低下への対策や地域全体による子どもたちへの支援の強化も必要とされています。

こうした多くの課題に立ち向かい、子どもたちの健全な成長を促していくためには、人々と地域の絆をつなぎ、地域の未来をつなぐという考え方のもと、学校・家庭・地域の連携を深め、社会全体で子どもたちの学びを支える取り組みを展開していくことが何より重要です。学校・家庭・地域のつながりを深めることにより、子どもたちの学びや体験が充実し、地域の理解と協力を得た学校運営が実現されるとともに、地域の歴史・文化などへの理解の促進、さらには、地域コミュニティの活性化や家庭の教育力の向上につながるものと考えます。

また、羅臼町の豊かな自然環境や歴史・文化の下で、これまで先人の積み重ねてきた成果と知恵・工夫などを基礎とし、すべての町民の皆様とともにこの教育大綱を共有し、様々な分野に携わる人々と広く連携して、羅臼町教育の一層の充実に向けて取り組んで参ります。

羅臼町長 湊 屋 稔

◆大綱の策定について

1 大綱の性格

- この大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項の規定に基づき、羅臼町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その理念（めざす姿）や施策の根本となる方針を定めるものです。

2 大綱の構成

- 羅臼町民憲章及び羅臼町の教育目標を基にした「羅臼町の基本方針」を以て大綱とし、「取組を進める分野」及び「各分野における取組方針」を示しています。
- このうち、「各分野における取組方針」では、「Ⅰ社会で生きる力の育成」「Ⅱ羅臼の未来を拓く人材の育成」「Ⅲ生涯学習や芸術文化・スポーツの振興」の3項目を柱とした上で、17の施策項目について取り組むべき方向性を示しています。

3 大綱の対象期間

- 北海道教育大綱の対象期間及び町長の任期等に配慮し、今大綱の対象期間は令和元年度から4年度までの4年間とします。

羅臼町教育大綱

◆羅臼町民憲章

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、
オホーツクの海原の大自然に はぐくまれた羅臼の町民です

- 一、自然を愛し、先人の強い意志をうけつぎます
- 一、健康で、明るく楽しい家庭をつくります
- 一、教養を高め、豊かな情操を育てます
- 一、仕事に誇りを持ち、はたらく喜びに生きます
- 一、子どもたちの夢と、若い力を育てます

◆羅臼町教育目標

ふるさと羅臼の躍進を創造し
いきいきと逞しく行動する 心豊かな町民の育成

◆羅臼町教育の基本方針

- 1 確かな学力や健やかな体、豊かな心など、社会で生きる力の育成を図るとともに、いじめの防止等に向けた取り組みや、規範意識や他者を思いやる倫理観の育成、特別支援教育の充実に関する取り組みを進めます。
- 2 自分の生まれ育った郷土の歴史や文化、産業などに親しみ、理解を深め、ふるさとに愛着を持って発展させていこうとする気持ちを育みます。また、望ましい勤労観・職業観の育成に向けて、若年層に対するキャリア教育や職業教育の一層の充実を図ります。
- 3 地域全体で子どもたちの学びを支援する取り組みを推進するとともに、子育て支援や家庭の教育力の向上などに関する取り組みを進めます。
- 4 幼児教育から高校教育までを連続的につなぐ教育の充実、教職員の資質向上など、質の高い研修機会の提供を進めます。
- 5 持続可能な羅臼の活力ある未来に向けて、町を支える水産業・酪農や観光、食品加工業などの産業に携わる人材の育成を進めます。
- 6 世界自然遺産登録「知床」を通しての環境教育の理解と国際的コミュニケーション能力やチャレンジ精神、異文化に寛容性をもったグローバル人材の育成を進めます。
- 7 ライフステージに応じた学習活動や体験活動の充実、地域づくりなどへの積極的な参画に向けた社会教育の推進などの生涯学習活動を推進します。
- 8 文化活動の振興やスポーツ環境の整備などの文化・スポーツ活動の推進を通じて、羅臼町らしい個性的な文化や芸術の振興を図るとともに、健康で明るく生涯スポーツに取り組める環境の実現をめざします。

◆取り組みを進める分野

I 社会で生きる力の育成

[生きる力の育成]

- ・幼児から18歳までの一貫した教育で「確かな学力」を育む教育に取り組みます。いじめ問題等に対応するため健やかな体と豊かな心を育て、特別支援教育、知床学を通じた「ふるさと教育」、キャリア教育の充実にも取り組みます。

[生きる力の育成に向けて]

- ・地域全体で子どもたちの学びを支援するためコミュニティ・スクールの導入について検討します。また、子育て支援・家庭教育支援の充実と教職員の資質・能力の向上研修を推進します。そのための学校施設・設備等の整備・充実にも取り組みます。

II 羅臼町の未来を拓く人材の育成

- ・産業人材の育成や世界自然遺産登録「知床」を通しての環境教育とグローバル人材の育成に取り組みます。

III 生涯学習や芸術文化・スポーツの振興

- ・社会教育活動を通して、地域の活性化に寄与する生涯学習の振興、芸術文化の振興、スポーツ活動の推進・環境の充実に取り組みます。

◆各分野における取り組み方針

I 社会で生きる力の育成

[生きる力の育成]

- 1 幼児から18歳までの一貫した教育の推進
 - ①幼小中高一貫教育の充実
 - ②幼児期から読書に親しむ習慣形成
- 2 確かな学力を育む教育の推進
 - ①全国平均以上を目指す学力向上取り組み
- 3 健やかな体を育む教育の推進
 - ①体力・運動能力向上（コーディネーショントレーニング）の取り組み
 - ②健康教育・食育の取り組み
- 4 豊かな心を育む教育やいじめ問題等への取り組み
 - ①道徳教育や体験活動の推進
 - ②いじめ問題等への取り組み
- 5 特別支援教育の充実
 - ①共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育^{*1}の開発
- 6 知床学を通じた「ふるさと教育」の推進
 - ①生まれ育った地域の歴史や文化等の理解を深める取り組み
 - ②ユネスコスクールの活動充実（ESD教育の推進）
- 7 キャリア教育の推進
 - ①発達段階に応じた体系的なキャリア教育の開発

[生きる力の育成に向けて]

8 地域全体で子どもたちの学びを支援する取り組みの推進

- ①コミュニティ・スクールの導入についての検討

9 子育て支援・家庭教育支援の充実

- ①子どもたちの安全・安心で健やかな育ちの基盤である家庭の教育力向上

10 ICT※²を活用した教育の推進

- ①ICTに対する興味・関心の向上、創造的に取り組む力の育成

11 教職員の資質・能力の向上

- ①教職員の研修体制の構築と充実

12 学校施設・設備等の整備・充実

- ①防災機能の強化、安全・安心な環境確保

Ⅱ 羅臼町の未来を拓く人材の育成

13 産業人材の育成

- ①水産業・酪農や観光、食品加工業など町経済を支える人材の育成

14 世界自然遺産登録「知床」を通しての環境教育とグローバル人材の育成

- ①知床への理解と国際的コミュニケーション能力やチャレンジ精神、異文化に対する寛容性をもった人材の育成

Ⅲ 生涯学習や文化芸術・スポーツの振興

15 地域の活性化に寄与する生涯学習の振興

- ①生涯学習社会の構築に向けた社会教育の充実
- ②世代や立場などが異なる人々の絆づくり
- ③防災教育の推進

16 文化・芸術の振興

- ①芸術文化活動に参加する機会や文化に触れる機会の充実
- ②地域の文化活動を支える人材の育成

17 スポーツ活動の推進・環境の充実

- ①ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ②市民の生涯スポーツへの関心と意識の向上

【関連連動する計画】

- 1 羅臼町第7期総合計画（H28～R5）
- 2 羅臼町第8次社会教育中期計画（R2～R5）

注)※1：初等教育や中等教育段階において、障害を持った子供が大半の時間を通常学級で教育する実践。「インクルーシブ(inclusive)」とは、「含んだ、いっさいを入れた、包括的な」(ペネッセコーポレーション『Eゲイト英和辞典』)という意味。障害者だからといって排除されたり、単なる保護の対象として扱われたりするだけでなく、健常者と同じ権利を持った主体として、社会の一員に含まれるような「共生社会」を目指そうというもの。

注)※2：ICTとは、Information and Communication Technology(インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー)の略。ITの概念をさらに一歩進め、IT=情報技術に通信コミュニケーションの重要性を加味した言葉。ICTはITとほぼ同義語であるが、情報通信技術のコミュニケーション性を強調しており、ネットワーク通信による情報・知識の共有を念頭に置いた表現となっている

第8章 令和4年度羅臼町教育の取組みの概要と評価

羅臼町教育の目標

〔ふるさと羅臼の躍進を創造し いきいきと逞しく行動する 心豊かな町民の育成〕

I 社会で生きる力の育成

〔生きる力の基礎の育成〕

〔生きる力の育成に向けて〕

II 羅臼町の未来を拓く人材の育成

III 生涯学習や芸術文化・スポーツの振興

1 取組み概要と評価

I 社会で生きる力の育成

【1-① 幼小中高一貫教育の充実】

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	幼小中高の共通の研究主題と、「羅臼町学力向上プラン」に基づく教育を押し進め、「標準学力検査」において正答率全国平均以上を目指す。
実施内容	前年度調査の分析を行い、その結果を各校に提供し、各校で作成した学校改善プランに基づき授業改善を促した。
事業費	331千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校2年生と3年生の国語と算数、6年生の算数が全国平均を上回った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に中学校2年生と3年生の全教科が全国平均を大幅に下回っている。更なる授業改善と家庭学習習慣の定着が必要。
評価	担当評価：C / 外部評価：C

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	「羅臼町幼小中高一貫教育推進協議会」の組織再編を行い、全教職員に役割を持たせる。
実施内容	学力向上部会を「研修推進係」、「外国語教育推進係」、「GIGAスクール推進係」の3つに細分化し、全教職員をいずれかの部会に配置した。
事業費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一係の担当としたことにより、教職員に一貫教の一員としての自覚を持たせることができた。また、いままで不明確であったイングリッシュキャンプやICTの担当をはっきりさせることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部会や係の活動内容を会員に周知できなかった。
評価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」への育みを実現させる質の高い教育を提供できるよう幼稚園教諭研修会を実施し、参加満足度3点以上(4点満点)を得る。
実施内容	R4/10/5 令和4年度幼稚園教諭研修会 「幼稚園教育の充実」 講師：根室教育局教育支援課長 森下 智之 氏
事業費	0千円
成果又は課題	【成果】 ・参加者の満足度は講話が3.7点、演習が3.6点(4点満点)であった。 【課題】 ・小学校教諭も参加対象としたが、参加が少なかった。
評価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	幼稚園から小学校への円滑な学びの接続を充実するため幼小の教諭が協働で「幼小スタートカリキュラム」を作成し、実施する。
実施内容	R4/12/19にスタートカリキュラム策定会議を実施し、R5/3/10までの作成を指示した。
事業費	0千円
成果又は課題	【成果】 ・R4年度より名称を「架け橋期のプログラム」と変更し幼小の教諭が協働で作成。R5年度当初から運用することができた。 【課題】 ・幼小連携をさらに推進する必要がある。
評価	担当評価：B / 外部評価：B

【1-② 幼児期から読書に親しむ習慣形成】

所 管	図書館
事業目的・概要	親子の絆を深める家庭での読み聞かせを普及するため、絵本について学ぶ機会をつくる。
実 施 内 容	<p>【本との出会い講座・講演会】</p> <p>①絵本パフォーマー岸田典大氏による講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所 羅臼幼稚園(R5/2/28) 43名 春松幼稚園(R5/3/1) 35名 子育て支援センター 3組8名 <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1園ごとの開催とした。</p> <p>②本との出会い講座（一日入園説明会時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：次年度幼稚園入園児保護者 ・内容：絵本の読み聞かせの重要性と、読み聞かせが親子の絆を深めることの説明を行った。 ・開催場所 羅臼幼稚園（R5/2/8）17名 春松幼稚園（R5/1/27）4名
事 業 費	98千円
課 題 等	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせと音楽を融合させたパフォーマンスを通して、出会ったことのない絵本と園児をつなぎ、絵本や読み聞かせへの興味関心を高めることができた。 ・本との出会い講座では保護者へ説明することで、家庭での読み聞かせを行うことの重要性の理解を深めることができた。また、読み聞かせで使用する絵本への興味関心を高めることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本パフォーマーは、感染対策を行いながら鑑賞機会を提供する方法を検討する。 ・本との出会い講座は、家庭での読み聞かせへの意欲を継続させる働きかけを行う必要がある。
評 価	担当評価：B / 外部評価：A
委員からの質問・意見等	様々な活動ができていると感じている。また、目的にある「学ぶ機会をつくる」について、学ぶ機会をつくり、さらに興味関心を高め、機会を作るだけでなくそれ以上のことができていると感じる。そのため外部評価としては、A評価とする。

所 管	図書館
事業目的・概要	学校や幼稚園等の施設及び、子育て世帯や高齢者など図書館から離れた地区に住む住民へ図書館サービスを提供し、読書に親しむ環境づくりを進める。
実 施 内 容	<p>【図書館バス巡回事業】</p> <p>○巡回場所：21か所</p> <p>○小学校・幼稚園：月2回</p> <p>○中学校・高齢者福祉施設・子育て支援センター：月1回</p> <p>○巡回希望世帯：月2回</p> <p>○利用状況：6,267冊</p> <p>・内児童書：5,379冊(前年度比：1,295冊増、内児童書比：1,331冊増)</p> <p>○巡回バス内で巡回先に合わせたおすすめ本の展示</p>
事 業 費	197千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に継続して巡回を行うことによって町内の地理的格差に対応した安定した読書環境づくり・図書館サービスの提供を行うことができた。 ・巡回バス内でおすすめの本の展示を行い、出会ったことのない本と利用者をつなぎ、読書への興味関心を高めることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校や中学校、子育て支援センターは利用者の固定が見られるため、新規利用者の獲得への働きかけを検討する必要がある。
評 価	担当評価：B / 外部評価：A
委員からの質問・意見等	目的の「環境づくり」ができており、さらには興味関心を高めることができていることから目的以上のことができているのではないか。また、数値的にみても増加し、成果をあげているため、外部評価としてはA評価とする。

所 管	図書館																
事業目的・概要	町内の子ども達に、公共施設を適切に利用する習慣や社会性を身につけてもらうため、利用指導を行う。																
実 施 内 容	<p>【図書館バス利用ガイダンス】</p> <p>○各幼稚園、小学校1年生対象に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの利用方法、本の扱い方、借り方、返し方を指導、読み聞かせを実施している。 <table> <tr> <td>羅臼幼稚園</td> <td>R4/4/19</td> <td>12名</td> <td>※年少</td> </tr> <tr> <td>春松幼稚園</td> <td>R4/4/21</td> <td>19名</td> <td>※年中・年少</td> </tr> <tr> <td>春松小学校</td> <td>R4/5/19</td> <td>8名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>羅臼小学校</td> <td>R4/5/26</td> <td>21名</td> <td></td> </tr> </table>	羅臼幼稚園	R4/4/19	12名	※年少	春松幼稚園	R4/4/21	19名	※年中・年少	春松小学校	R4/5/19	8名		羅臼小学校	R4/5/26	21名	
羅臼幼稚園	R4/4/19	12名	※年少														
春松幼稚園	R4/4/21	19名	※年中・年少														
春松小学校	R4/5/19	8名															
羅臼小学校	R4/5/26	21名															
事 業 費	82千円																
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回時に、子どもたちからガイダンスでの指導を守ろうとする姿が見られたことから、公共施設の利用に関する習慣や社会性を身に付けさせることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園での利用のルールと小学校での利用のルールが大きく変わるため、ガイダンス後も小学校1年生が利用の際に混乱する場面がある。混乱がより少なくなるように説明内容を修正する必要がある。 																
評 価	担当評価：B / 外部評価：B																

所 管	図書館
事業目的・概要	本の紹介や読み聞かせを行い、読書の動機付けを図る。また、司書との交流を図り図書館に親しみを持ってもらう。
実 施 内 容	<p>【読み聞かせ連携支援】</p> <p>○朝の時間で10分程度、読み聞かせや本の紹介を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春松小学校(R4/4月～3月実施) 1～2年生：年間10回(ぐりとぐら) 3～6年生：年間20回(司書・学校司書・ぐりとぐら・学校ボランティア) ・羅臼小学校(R4/5月～12月実施) 1～6年生：年間24回(こぐま、司書)
事 業 費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと様々なジャンルの本をつなぎ、読書活動のきっかけをつくることのできた。また、読み聞かせをした絵本を巡回バスや教室に展示することにより、一人読みへつなげるきっかけをつくることのできた。 ・司書や図書館職員が読み聞かせに参加することにより、子どもたちから認知され巡回バスなどで気軽に利用相談ができる関係性をつくることのできた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせサークルや学校ボランティアが主体となって行っているが、子どもたちと司書との交流機会を継続的につくるために、読み手ではなくても、司書の継続な参加が必要である。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B
委員からの質問 ・ 意 見 等	<p>課題の「～司書の継続的な参加が必要である」は、人員的に可能なのか。</p> <p>⇒担当：現在はサークルの方をお願いしている。毎回とはいかないが、サークルの様子をみたり、見学したり、図書館司書がいくこともある。これだけ司書が学校に関わっていることはすごいと感じる。</p>

所 管	図書館
事業目的・概要	図書館の仕事について知ってもらい適切に利用できるよう援助する。また、本を紹介し読書の動機付けを図る。
実 施 内 容	<p>【図書館のひみつ学習】</p> <p>○図書館の機能、司書の仕事、分類、図書館利用案内、ブックトーク(本の紹介)の実施。</p> <p>※各学校を訪問し、説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羅臼小3年生：R4/12/1 13名 ・春松小3年生：R5/2/6 14名
事 業 費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館や司書の役割、分類に加え、蔵書検索システムによって本が探しやすくなったことを説明することで、図書館への興味関心を高め、本の効率的な探し方を指導することができた。 ・ブックトーク(本の紹介)で、使用した本への興味関心を高め、使用した本を教室内に展示することで、紹介で終わることなく、読書活動へつなげることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春小との実施時期の調整が難しく授業単元等とからめることができなかった。国語の読書単元など、読書に関連のある授業で実施できるよう調整を図り実施する必要がある。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	図書館
事業目的・概要	学校等の読書相談に応じ、町民の調べものや相談にきめ細かく対応しながら生涯学習の推進を図る。
実 施 内 容	<p>【図書館相談事業】</p> <p>○学校連携支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施事業 国語科「図書館へ行こう」 羅小、春小2年生来館受け入れ ・未実施事業 高校生インターンシップ <p>○通常サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体貸出：3,892冊 ・予約・リクエスト：238件 ・調査件数：15件 ・利用相談：287件 ・相互貸借 借受：21冊、貸出：5冊 ・図書宅配サービス：0件
事 業 費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道立図書館をはじめ道内の図書館との相互貸借を活用しながら、町民や学校等からのリクエスト・利用相談・参考調査に応えることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書宅配サービスについて、新型コロナウイルス感染症対策として実施していたが、臨時休館や移動図書館バスの巡回中止による貸出停止期間がなかったため利用希望がなかった。町民のニーズを反映したサービス内容の検討が必要である。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	図書館
事業目的・概要	地域全体が包括的に子どもの読書活動に関する価値観を共有し、子どもが読書に親しみながら成長するよう環境整備を図るために策定する。
実 施 内 容	○第2期羅臼町子どもの読書活動推進計画を策定する。 [計画年度] 第1期 2018～2020年度 3か年 第2期 2021～2024年度 4か年
事 業 費	0千円
成果又は課題	【成果】 ・計画の推進方策のひとつである「家庭における読書活動の推進」に関わって、幼稚園入園児の保護者を対象に、読み聞かせの重要性などについて講座を行い、その推進を図ることができた。 【課題】 ・「緒むすび」が実施しているアンケート調査を活用しながら、R7年度の策定に向けて情報収集及び検証を継続して行っていく必要がある。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	図書館
事業目的・概要	羅臼町子どもの読書活動推進計画を基に、子どもが読書に親しみながら成長するための環境整備の一環として、家庭での読書習慣の定着を図る。
実 施 内 容	<p>【家読(うちどく)推進事業】</p> <p>①家読セットの貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本4冊と紙芝居1冊を作成。 <p>②セカンドブック事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館バスガイドンス時に図書館特製バッグとおすすめ本リストを贈呈。 ・3月：本の選定・配付を実施 <p>③家族みんなで読書登山</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道日本ハムファイターズの事業「本を読んでファイターズを応援しよう！」に町で参加。 ・内容：期間内に目標冊数まで読めたら特製シャープペンシルをプレゼント ・対象：町内小学生 参加児童 6名
事 業 費	32千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セカンドブック事業では、小学校での図書館バスの巡回時や図書館来館時に、プレゼントしたバッグを持ってくる児童が多く、子どもたちの貸出につなげることができた。 ・家族みんなで読書登山ではキャンペーン実施時期が夏休み期間中のため、夏休みの家庭での読書活動につなげることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家読セットの貸出では、対応が遅れ、実施することができなかった。 ・セカンドブック事業では、特製バッグの配布直後は、図書館バスの利用が増えるが、通年を通して利用する児童は固定化している傾向が見られるため、読書活動に対する意欲を継続させる働きかけが必要である。 ・家族みんなで読書登山では、既存の事業に付属するかたちでの実施にとどまってしまったため、対象が小学生のみとなってしまった。対象や目標などを見直して、親子や中高生も参加してもらえるよう事業内容を検討する必要がある。
評 価	担当評価：C / 外部評価：C
委員からの質問・意見等	<p>うちどくができなかったから、C評価であるのか。</p> <p>⇒担当：併せて「家族みんなで読書登山」の参加児童数が少なかった。対象児童数209名に対して参加者が6名だった。周知方法等に課題を感じている。</p>

【2-① 全国平均以上を目指す学力向上取り組み】

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	R4年度全国学力学習状況調査(小6・中3)に全校で参加し、正答率全国平均以上を目指す。
実施内容	前年度調査の分析を行い、その結果を各校に提供し各校での授業改善を促した。
事業費	0千円
成果又は課題	【成果】 ・全校参加し、小学校第6学年は国語・算数で全国平均を上回った。 【課題】 ・中学校第3学年は、全国平均を下回っていること。
評価	担当評価：C / 外部評価：C

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	北海道教育大学釧路校の学生による小学校第3学年～第6学年児童対象の学習支援事業であるアフタースクールを年2回行い、参加満足度3点以上(4点満点)を得る。
実施内容	・第1回：R4/9/10～11 春松小学校、参加児童 13名 ・第2回：R4/11/12～13 羅臼小学校、参加児童 8名
事業費	0千円
成果又は課題	【成果】 ・参加児童の満足度は第1回、第2回ともに4点(4点満点)であった。 【課題】 ・コロナ禍のためそれぞれの学校の児童しか参加できなかったこと。
評価	担当評価：A / 外部評価：A

【3-① 体力・運動能力向上(コーディネーショントレーニング)の取り組み】

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	春松小学校に体育専科教諭の配置を継続し体育授業の指導法改善を通して、小学生の体力運動能力を向上させ、全国体力運動能力調査における体力合計点全国平均点を上回る。
実施内容	体育専科教諭が、TTのサブ教員として授業に係ることで、ほかの教員の指導力を高めることを目指すとともに、指導方法の改善を行うことにより、児童の体力向上を図るよう促した。
事業費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体力合計点は50.7点と全国平均(50点)を超えた。また50m走以外の全種目で全国平均並みの体力となった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育専科教諭の配置がR4年度で終了するため、いかに学校全体で成果の継続に取り組むかが課題である。
評価	担当評価：B / 外部評価：B
委員からの質問・意見等	実際に体育の授業を見る機会があり、見学したがとても良い授業だった。今までのような技能を学ぶだけの授業ではなく児童が楽しく授業に参加していたのが見えたのでとてもよかった。

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	運動習慣及び望ましい生活習慣・食生活の育成を図るため、児童生徒の体力・運動能力の向上を推進する。
実施内容	実施できていない。
事業費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施できていないため成果なし。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当町の児童生徒に対しどのような体力・運動能力向上事業の取り組みが必要か、改めて検討が必要である。
評価	担当評価：C / 外部評価：C

【3-② 健康教育・食育の取り組み】

所 管	給食センター
事業目的・概要	生涯にわたって健やかに生きるための基礎を培うことを目的とし、発達段階に応じた食育を実施する。
実 施 内 容	<p>OR4年度食育実施日</p> <p>羅臼幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年少…R4/9/27 ・年中…R4/10/28、R5/2/15 ・年長…R4/9/21、R4/10/11 <p>春松幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年少…R4/9/20 ・年中…R5/2/21 ・年長…R5/2/22 <p>羅臼小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生…R4/6/22 ・2年生…R4/5/25 ・3年生…R4/6/15 ・4年生…R4/5/31 ・5年生…R4/6/1 ・6年生…R4/12/20 <p>春松小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生…R4/7/15、R4/11/28 ・2年生…R4/8/24、R4/11/21 ・3年生…R4/7/19、R4/12/2 ・4年生…R4/7/4、R4/11/16 ・5年生…R4/7/11、R4/12/7 ・6年生…R4/7/20、R4/12/12 <p>知床未来中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生…R4/6/17、R5/1/23 ・2年生…R4/5/13、R4/12/13 ・3年生…R4/4/27、R4/12/5
事 業 費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育学習実施後、給食の残食率は少なくなる傾向にあり、効果は表れている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間が経つにつれ効果が薄れる。授業時の意識づけや担任教諭との継続的な連携が必要である。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

【4-① 道徳教育や体験活動の推進】

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	道徳教育推進教諭を中心として、推進体制を確立するとともに、保護者や地域に向け、学習の様子を積極的に公開する。
実 施 内 容	各学校において、授業参観日に道徳の授業を積極的に公開した。
事 業 費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業参観日の授業に道徳の授業を位置付け、保護者や地域の方々に公開することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度以降、参観日等で全学級の公開をできるよう促す。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

【4-② いじめ問題等への取り組み】

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	「羅臼町いじめ防止基本方針」に基づき、学校・家庭・地域、その他関係機関連携のもと、日頃からいじめの未然防止と早期発見、早期対応に取り組む。
実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの未然防止を図るため、対人関係を構築できる道徳心を養う教育等を実施する。 ・いじめの早期発見に取り組み、認知された場合は、複数の教員等による「いじめ対策委員会」により早期解決に向けた対応を図るとともに、再発防止に取り組む。
事 業 費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめとして66件認知されたが、各学校において適正に対応し解決に至っている。なお、重大事態の発生なし。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より一層未然防止に力を入れる必要がある。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B
委員からの質問・意見等	<p>66件の内訳を教えてください。</p> <p>⇒担当：小学校～57件、中学校～9件。</p> <p>小学校の57件はとて多く感じる。具体的にどういった内容なのか。</p> <p>⇒担当：年に数回実施するいじめアンケートにおいて、「嫌な思いをした」という項目に「はい」と回答した人数も計上している。また、いじめの定義が変わってきているため、「嫌な思いをした」に該当する内容であれば、いじめ件数としてカウントされる。</p>

【5-① 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育の開発】

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	「こんぱす」の活用を促進し、特別な支援を必要とする園児児童生徒についてきめ細かな教育を行うため、指導者や保護者への研修機会の充実を図り、参加満足度3点以上(4点満点)を得る。
実 施 内 容	①R4/6/6 第1回特別支援教育研修会 「構造化された支援」 講師：きら星 丸山 芳孝 氏 ②R4/11/8 第2回特別支援教育研修会 「感情コントロール支援について」 講師：きら星 丸山 芳孝氏 ③R4/12/14 教育支援講演会(一般向け)「やる気スイッチなんてない」 講師：心理・教育支援サービス Te Gue ² 沼田 泉 氏
事 業 費	0千円
成 果 又 は 課 題	【成果】 ①参加者の満足度は3.8点(4点満点) ②参加者の満足度は3.9点(同上) ③参加者の満足度は3.9点(同上) 【課題】 ・一般の参加者を増やす。
評 価	担当評価：A / 外部評価：A

【6-① 生まれ育った地域の歴史や文化等の理解を深める取り組み】

所 管	ふるさと教育
事業目的・概要	幼小中高で取り組む「知床学」や社会教育事業の「知床Kids」、郷土資料館が提供する「ふるさと体験学習講座」などを通じてふるさとへの理解を深める。
実施内容	①幼小中高で取り組む「知床学」 ②副読本「知床学」の改訂 ③知床学士認定試験 ④ふるさと教育の充実に向けた教職員研修 ・R4/6/11 クルージング ・R4/6/18 トレッキング ⑤「知床Kids」の実施 ⑥「ふるさと体験学習講座」の実施(遺跡発掘、北方領土展示室開設講座) ⑦学校授業における郷土資料館見学で知床いぶき樽や羅臼の昔についての学習など
事業費	651千円
成果又は課題	【成果】 ・副読本の改訂に教職員の協力を得たことで授業への活用をイメージして作業を進めたことで内容が充実したとともに、先生方の知床学についての認識が深まった。 ・また、今後の知床学に関する取り組みの益々の充実が期待できる。 【課題】 ・教委スタッフ、教職員の人事異動による取り組みの引継ぎ。
評価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	社会教育課
事業目的・概要	ふるさとの自然に親しみ、豊かな心を養い、子ども達の郷土愛、忍耐力、協調心を育てる。
実施内容	【ふるさと少年探険隊】 ・事業実施直前に町内で新型コロナウイルス感染症が蔓延し、町内小学校が臨時休校になり、参加者にも感染者が複数発生したことから事業期間中の感染対策が困難と判断し、中止することとなった。 ・対象：小学校4年生～中学校3年生
事業費	1,525千円
成果又は課題	【成果】 ・中止となったため成果なし。 【課題】 ・大学、NPO法人、企業等関係機関との連携強化が必要である。 ・新たな地域スタッフ確保と継続的且つ計画的な育成が急務。また、高校生のボランティア強化を促す必要がある。
評価	担当評価：C / 外部評価：C

所 管	社会教育課
事業目的・概要	らうすの自然を楽しみながら学習し、郷土・文化を愛する心を育てる。
実 施 内 容	<p>【ふるさと体験教室「知床kids」】</p> <p>○プログラムについては知床財団、環境省、郷土資料館と検討し、実施。</p> <p>※令和4年度登録者22名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4/6/18 開級式(知床半島クルーズ) 参加者～小学生15人 ・R4/7月：チャシコツ磯遊び（ウトロ愛護少年団との交流事業） ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・R4/7/16：英嶺山トレッキング 参加者～小学生10人 ・R4/8/20：望郷の森トレッキング 参加者～15人 ・R4/9/3：発見！知床の海の生き物たち（アクアマリン） 参加者～小学生14人、オープン参加者4人 ・R4/10/23：歴史を学ぼう！まがたま作り 参加者～小学生10人 ・R4/12/10：大漁焼き作りにチャレンジしよう（こまぐさ・創作料理PJとの交流） 参加者～小学生9人、こまぐさ学級生16人、創作料理PJ5人 ・R5/1/21：冬の生き物観察会in相泊 ※悪天候のため中止 ・R5/2/25：幌萌スノーシュートレッキング 参加者～小学生10人
事 業 費	280円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響や悪天候で中止となったプログラムもあったが、新しいプログラムも織り交ぜながら、概ね予定通りの事業を実施し、各プログラムの振り返りノートには自然や文化に対する「気づき」が多く記載されていることから、郷土・文化に対する愛着を持たせることに繋げることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年参加している子が多く、プログラムが固定化されないように新規プログラムの企画開発及びプログラムを2～3年のサイクル化してマンネリ化を防ぐ必要がある。 ・学校、学年により参加者数のバラつきがあるため、継続的な参加者確保について検討が必要。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	郷土資料館
事業目的・概要	郷土の歴史や文化、自然に親しむ講座や企画展を開催しその理解を深める。
実 施 内 容	<p>【ふるさと体験学習講座】</p> <p>○ふるさと体験学習講座</p> <p>1)第1回ふるさと体験学習講座 知床古代の村体験発掘 R4/7/9 10名</p> <p>2)第2回ふるさと体験学習講座 新展示室開設公開講座 R4/10/15 44名</p> <p>3) 第3回ふるさと体験学習講座 北海道博物館公開講座「未来につなぐ北方四島の歴史文化」 R5/3/4 35名</p> <p>○新展示室開設特別開館 ・R4/10/15 58名</p> <p>○羅臼高校 知床学概論Ⅱ授業 ・R4/10月～R5/1月 全8回</p> <p>○講師依頼等</p> <p>1)北方四島歴史文化研究交流座談会 「後世につなぐ歴史・文化を語る」 富山県 R5/1/13 15名</p> <p>2)歴史文化研究交流 フォーラム 「未来につなぐ北方四島の歴史・文化」 富山県R5/1/14 50名</p> <p>○郷土資料館巡回展(ルサ) ・羅臼VC R4/4/26～R4/6/19</p>
事 業 費	98千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <p>・コロナ禍にあり、ふるさと体験学習講座は当初予定の5回の実施を行うことはできなかったが、想定を超える参加者数もあり、寄せられた意見から目標を達成できている。</p> <p>【課題】</p> <p>・中期計画で予定していた、町内会単位での講座の実施がコロナ禍もあり実施できていない。</p>
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

【6-② ユネスコスクールの活動充実(ESD教育の推進)】

所 管	ふるさと教育
事業目的・概要	海の豊かさや陸の豊かさを守る取り組みの達成に向け、特にその中心となる「海洋教育」の発展に努める。
実 施 内 容	<p>①R4/12/9 ユネスコスクール発表会</p> <p>②他地域の学校との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春松小学校と沖縄県上原小学校とのWEB交流5年生(R4/11/1)、6年生(R4/12/1) <p>③R4/7/26 教職員ESD研修会</p>
事 業 費	0千円
成 果 又 は 課 題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他地域の学校との交流が深まり、これをきっかけに当町から交流事業として児童生徒を沖縄に派遣するまでに至った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の意識付け(研修の継続)。 ・ESDプログラムの開発。
評 価	担当評価：A / 外部評価：A

【7-① 発達段階に応じた体系的なキャリア教育の開発】

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	子ども達が将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たして、自分らしい生き方を実現する力を身につけさせるように努める。
実施内容	小学校1年生から中学校3年生までの9年間を見通した「羅臼町版キャリアパスポート」を活用する。
事業費	0千円
成果又は課題	【成果】 ・小学校、中学校間での引継ぎがスムーズにできている。 【課題】 ・近い将来に改訂する必要がある。
評価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	「ふるさと学習」につながる取り組みとなるよう、知床の風土や食・自然の素晴らしさについて再発見すること、課題や問題点に対し共に学び合い・助け合う集団行動を体験的に学びとることをねらいとする。
実施内容	【創作料理プロジェクト】 ・対象：高校生(7名) ○随時 新レシピの作成及び大漁焼きのブラッシュアップを行った。 ○7月：「らうす大漁焼き」ビジカフェ出店 ○9月：「らうす大漁焼き」HappyCamp出店 ○10月：「らうす大漁焼き」知床サスティナブルウィーク出店 ○11月：「らうす大漁焼き」シャケサミット2022出店、「らうす大漁焼き」知床物産展(東京)出店
事業費	1,057千円
成果又は課題	【成果】 ・将来の羅臼町の担い手となる子ども達による、地域活性化・地産地消を観点においた食に関する学習活動を通して、地域食材の魅力を再確認することでふるさとへの愛着の創出に繋がった。 ・町内外のイベントに複数回出店したことにより消費者の反応を体感し、製品のブラッシュアップにフィードバックできた。 【課題】 ・活動体制及び地域の応援体制の構築と安定化を図る。 ・「らうす大漁焼き」の名物化に向けた支援の継続。
評価	担当評価：B / 外部評価：B

【8-① コミュニティ・スクールの導入についての検討】

所 管	社会教育課
事業目的・概要	学校運営に関して羅臼町教育委員会及び校長の権限と責任のもと、保護者及び地域住民等の学校運営への参画促進や連携強化を進めることにより、幼小中高と地域住民等と信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成を推進することを目的とする。
実 施 内 容	<p>○学校運営協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 R4/4/28 ・第2回 R5/3/24 <p>○コーディネーターの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シトラスリボン普及活動 ・幼稚園での環境美化活動 ・グラウンド整備事業 ・キャリア教育(職場体験)での受け入れ先調整 ・小学校でのサケフレーク作り及びロープワーク体験 ・鮭の稚魚放流体験 ・幼稚園・小学校でのホッケのかまぼこ作り <p>○コーディネーターの研修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4/8月に道内先進地視察を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により中止。 ・R5/2月にコミュニティスクールに関する研修(地学協働活動推進フォーラム)をZOOMにて参加。
事 業 費	104千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターが積極的に学校に入り込んだ活動展開がされており、学校と地域の距離感を縮めてきている。 ・令和4年度から高校PTAからも学校運営協議会の委員として参加してもらい、高校との活動展開に繋げ易い環境となってきている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校での活動展開が出来ていない状況であり、総合的な探求の時間でのコーディネーターの活用を進める必要がある。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

【9-① 子どもたちの安全・安心で健やかな育ちの基盤である家庭の教育力向上】

所 管	社会教育課
事業目的・概要	食育に関する知識の習得や食に関する適切な判断力を養い、生活習慣を整えるケア行動が取れる人材育成を目指す。
実 施 内 容	<p>【家庭教育学級】</p> <p>○羅臼高校家庭科授業講師対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：羅臼高校1年生 計21名 ・会場：羅臼高校 R4/7/1 ・内容：家庭科教科書P44～45「子どもの食生活」乳児期に特化した内容で、講話と実習を実施
事 業 費	105千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生に対し、離乳食を始めとした子どもの食に関する学習機会の提供を行ったことで、知識の習得による人材育成に繋がった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な家庭教育に関する事業の検討が必要である。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	社会教育課
事業目的・概要	長期休業中の子どもの生活リズムを整え、学習習慣や運動習慣等を含めた生活習慣を改善・定着させる。
実 施 内 容	<p>【らうす寺子屋kids】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内において新型コロナウイルス感染症拡大時期と事業実施時期が重なったため、開催中止。
事 業 費	35千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未開催のため成果なし。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未開催のため課題なし。
評 価	担当評価：C / 外部評価：C

所 管	社会教育課
事業目的・概要	子育てに関する事業を展開する関係機関と連携をとりながら子育て情報の提供を行い各種事業を通じて子育て支援に関わる人材の発掘と養成を図る。
実 施 内 容	<p>(子育て支援関連事業)</p> <p>○子育て支援ネットワーク会議 (主管：保健福祉課) 開催日：R4/7/5、R4/11/17 場所：子育て支援センター</p> <p>○羅臼町子どもの自律・親育ち応援チーム「緒むすび」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活状況アンケートの実施・検証 ・啓発物資の作成・配布 (らうすのおやさだちおうえん標語うちわ500部、ステッカー80枚) ・講演会①「親子DEスポーツフェス」 講師：ブレイクレティクス MIYUKI氏、アルテミス北海道選手 対象：未就学児とその保護者 ※43名参加 ・講演会②「メディアコントロールについて」 講師：(NPO)子どもとメディア 代表 中谷通恵 氏 対象：未就園児、小学校5年生、中学校1年生 105名 ・講演会③「コロナ禍における子どもの育ちと学びを考える」 講師：日本体育大学 教授 野井信吾 氏 対象：町内在住の一般住民 ※羅臼町幼小中高一貫教推進協議会と共催 ・町内小学校の入学説明会において、保護者向けにメディアコントロールの重要性の説明を実施
事 業 費	181千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで実施してきた事業に加えて、新たな切り口での講演会(親子DEスポーツフェス)を開催することができた。 ・講演会等の事業展開を行ったが、子育て支援を実践する地域人材の発掘及び育成には至らなかった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者対象者層の興味関心が無いことが参加率の低さの原因とも考えられるが、子育て世代の関心やニーズを把握し、これらをうまく取り入れ、対象者が興味を持てる情報提供をすることが重要である。
評 価	担当評価：C / 外部評価：C

所 管	図書館
事業目的・概要	絵本を仲立ちに、赤ちゃんと保護者が温かく楽しい時間を過ごし、親子の絆を深めてもらうきっかけづくりを行う。
実 施 内 容	<p>【ブックスタート事業】</p> <p>①ハッピー手づくり絵本教室（手作り絵本製作指導）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：プレママ（妊婦） ・内容：妊婦に生まれてくる赤ちゃんへプレゼントする絵本の製作を指導し赤ちゃんへの読み聞かせに対する関心を持ってもらう。 ・参加者：R4/6/16：6名、R4/10/27：中止、R5/2/9：1名 ※R3年度は3回で計10名 <p>②ブックスタート(乳幼児相談時に実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：生後5～7か月の乳児及びその保護者 ・内容：司書が赤ちゃんに読み聞かせし、家庭での読み聞かせにつなげる。 ・配布物：ブックスタートセット(絵本1冊、絵本リスト、図書館利用案内、利用登録用紙、当日・後日アンケート、特製バッグ) ・参加者：R4/6/14：6組、R4/9/13：4組、R4/12/13：5組、R5/3/13：2組 <p>③移動図書館バス巡回と読み聞かせ(月1回子育て支援センター「ありんこ」読み聞かせ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：「ありんこ」を利用している幼児とその保護者 ・内容：絵本の読み聞かせ、図書館バスでの貸出 ・実施月：R4/4月～R5/3月 計8回（※R3年度：計7回）
事 業 費	90千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハッピー手づくり絵本教室では生まれてくる赤ちゃんのための絵本を製作することで赤ちゃんへの読み聞かせへの意欲の向上を促すことができた。 ・ブックスタートではプレゼントする絵本を司書が読み聞かせし、赤ちゃんの嬉しそうな反応を保護者に見てもらうことによって、家庭での読み聞かせへの関心を高め親子で過ごす時間づくりへ繋げることができた。 ・移動図書館バス巡回と読み聞かせでは、定期的に読み聞かせを行うことで、参加者に読み聞かせの楽しさを伝え、家庭における親子で行う読み聞かせへの興味関心を高めることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハッピー手づくり絵本教室では妊婦やブックスタート実施前の乳幼児の図書館利用は少ないため絵本製作時に図書館利用を促す働きかけが必要。 ・ブックスタートでは、プレゼントした絵本を家庭で読み聞かせした時の赤ちゃんの反応を記入してもらう「後日アンケート」の返送率は高くないため、アンケート方法の検討を行う必要がある。 ・移動図書館バス巡回と読み聞かせでは、読み聞かせ後の図書館バスの利用が少ないため、貸出につなげる働きかけを検討する必要がある。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B
委員からの質問・意見等	たくさんの事業をやっていて素晴らしいと感じる。

【10-① ICTに対する興味・関心の向上、創造的に取り組む力の育成】

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	デジタル教科書を活用した授業の指導方法工夫改善に向け研修の機会を設け、教職員の参加満足度4点以上(5点満点)を得る。
実 施 内 容	R4/7/27に道研地域連携講座兼教師力向上研修会「デジタル教科書を活用した授業の構築」講座を開催した。
事 業 費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者の満足度は4.7点(5点満点)。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ハイブリッド方式での開催のため、グループ協議が行いにくかった。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

【11-① 教職員の研修体制の構築と充実】

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	教員の資質の向上を図るため道立教育研究所と連携した研修を実施し、教職員の参加満足度4点以上(5点満点)を得る。
実施内容	R4/7/27に道研地域連携講座兼教師力向上研修会「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり講座を開催した。
事業費	0千円
成果又は課題	【成果】 ・参加者の満足度は4.2点(5点満点)。 【課題】 ・ハイブリッド方式での開催のため、グループ協議が行いにくかった。
評価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	北海道地方ESD活動支援センターの協力により、町内の幼小中高の教員対象に、ESDの理解と実践力を培うため、研修会を開催し、参加満足度3点以上(4点満点)を得る。
実施内容	R4/7/26に元北海道教育大学副学長大津和子氏を講師としてESD研修会を開催した。
事業費	0千円
成果又は課題	【成果】 ・参加者の満足度は3.4点(4点満点)。 【課題】 ・講義中心の研修会であった。
評価	担当評価：B / 外部評価：B
委員からの質問・意見等	教員の参加者数は。 ⇒担当：50名以上の参加があり、7月26～27日の2日間で4つの講座を実施している。

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	心の不調や生き辛さを抱えた子供たちが、自らの命を断つ道へ向かわせないためにゲートキーパー研修を実施し、参加満足度3点以上(4点満点)を得る。
実施内容	R4/7/26に北海道教育大学教授安川禎亮氏を講師としてESD研修会を開催した。
事業費	0千円
成果又は課題	【成果】 ・参加者の満足度は3.3点(4点満点)。 【課題】 ・3年前の講義と似た内容であった。
評価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	知床未来中学校において、北海道教育大学付属釧路義務教育学校後期課程と連携した研修を実施し、教師の授業力向上に努める。
実施内容	・R4/11/14～18に寺島教諭が釧教大附属義務教育学校後期課程を訪問し学習指導案作成、模擬授業を含む、集中指導を受講した。 ・R4/11/30の知床未来中公開授業研究会に同後期課程より2名の助言者を招き指導を受けた。
事業費	0千円
成果又は課題	【成果】 ・訪問時に指導を受けた授業を公開した。学び合いの場面を多く取り入れた授業となり、指導を受けた成果が見られた。 【課題】 ・知床未来中学校全体の教師力を向上させる必要がある。
評価	担当評価：B / 外部評価：B

【12-① 防災機能の強化、安全・安心な環境確保】

所 管	学務課
事業目的・概要	「羅臼町教育施設等長寿命化計画」に則り、各小中学校及び幼稚園の改修等を実施し、教育環境の充実を図る。
実 施 内 容	<p>OLED改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期…R4/10月～R5/2月 ・施工場所…羅臼幼稚園
事 業 費	9,724千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常の照明器具のほか、避難誘導灯及び非常灯を明るく長寿命のLED器具に更新したことにより、災害発生時などにおける安全な避難通路の確保が図られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでと同様に定期的な保守点検を実施し、不点灯箇所を確認した場合には迅速な修繕対応を行う必要がある。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

Ⅱ 羅臼町の未来を拓く人材の育成

【13-① 水産業・酪農や観光、食品加工業など町経済を支える人材の育成】

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	望ましい勤労観や職業観を育むため、水産業や酪農、観光業、食品加工業などへの職業体験の実施や外部講師の活用を図る。
実施内容	中学校において、町内18か所の事業所に協力いただき職場体験を実施。
事業費	0千円
成果又は課題	【成果】 ・働くことの大変さや、やりがいについて気づいた感想文が多かった。 【課題】 ・水産業、酪農、食品加工業に関する職場体験を希望する生徒がいなかった。
評価	担当評価：C / 外部評価：C

所 管	社会教育課
事業目的・概要	次代を担う高校生を対象に、基幹産業である漁業を中心とした地元の産業に関する知識や技術を学ぶ機会とする。
実施内容	【高校生の水産教室】 ○開級式・記念講演 / 講師：タイガーモブ 金子 雄亮 氏 ○ロープワーク①～② / 講師：羅臼漁協定置青年部 ○ダイビング講習（①～④） / 講師：知床ダイビング企画 ○施設見学① ウニ種苗センター見学 ○ダイビング実習①～⑤ / 講師：知床ダイビング企画 ○施設見学② 海洋深層水取水施設、加工場 ○ブランド化・マーケティング授業 / 講師：産業創生課 ○鮭に関する実習 / 会場：標津町サーモン科学館 ○鮭トバ加工実習 / 講師：羅臼漁協定置青年部 ○EM菌石鹸製作実習 ○イカの解剖実習 ○プレゼン学習 ○閉級式・記念講演 / 講師：黒潮実感センター 神田 優 氏
事業費	648千円
成果又は課題	【成果】 ・新型コロナウイルス感染症拡大状況下の中、「今できること」を専科生とともに見つけ、実践しながらプログラムに取り組むことが出来た。 【課題】 ・情勢にあったプログラム内容の検討や、既存プログラムの磨き上げを継続する必要がある。
評価	担当評価：B / 外部評価：B

【14-① 知床への理解と国際的コミュニケーション能力やチャレンジ精神、異文化に対する寛容性をもった人材の育成】

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	子供たちが日常的に英語によるコミュニケーションができる力を育むため、授業のほかにイングリッシュキャンプ（イングリッシュ・フェスティバル）を実施し、参加満足度3点以上（4点満点）を得る。
実施内容	R4/11/17に知床未来中学校において、小学生11名が参加し実施。
事業費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加児童の満足度が4点(4点満点)であったが参加児童が少なかった。 前年度試験的に行ったイングリッシュ・フェスティバルを一貫教の活動として位置づけ、幼小中高の教諭が協力して開催することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため、開催時期を変更して実施したことから参加者が少なかった。
評価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	児童生徒が自らの英語力の向上を実感するため、小学校6年生から受験を促し、中学校卒業時に英検3級合格率50%以上、高校卒業時に英検準2級から2級合格率30%を目指す。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 1回目：R4/5/27～6/18 2回目：R4/9/30～10/22 3回目：R5/1/13～2/4
事業費	748千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校3年卒業時4名(9.8%)、高校は準2級合格者第1学年1名。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生は授業時間内で英検の勉強をする時間を確保できない。 小中、中高での乗り入れ授業の計画的実施。
評価	担当評価：C / 外部評価：C

Ⅲ 生涯学習や文化芸術・スポーツの振興

【15-① 生涯学習社会の構築に向けた社会教育の充実】

所 管	社会教育課
事業目的・概要	ボランティア活動や教育委員会等の各種事業、研修を通じて、組織的学習活動の助長を図り、リーダーを養成する。
実施内容	<p>【リーダー養成事業】</p> <p>○羅臼町活性化ワーキンググループ しれとこ羅臼こんぶフェスタの実施 ※R4年度中止</p> <p>○青年先進地視察事業(R5/3/18~19)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年2名参加 ・近隣の青年活動や地域づくりを行っている企業、団体、個人を選定し、下記のとおり視察研修を実施した。 <p>網走市：合同会社大地のりんご 道山 マミ 氏 津別町：青年活動プロジェクト - and 美幌町：地域おこし協力隊 滝川 朗正 氏 訓子府町：青年団体連絡協議会</p>
事業費	326千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で羅臼町活性化WGの事業が中止となったため、成果なし。 ・視察事業は実施し参加者の知見を深める事でリーダー養成に繋げた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単発的な青年先進地視察だけではなく、複数年で計画的な視察事業内容の検討。
評価	担当評価：C / 外部評価：B
委員からの質問・意見等	成果をみるとリーダー養成に繋げることができたと感じる。事業に参加した2名が見解を深め今後の活動に生かし、現在リーダーとして活躍できていると考えるのであれば、外部評価としてはB評価とする。

所 管	社会教育課
事業目的・概要	成人となったことを祝い、社会人としての有意義な人生を歩むよう誓い、励ます機会の提供及び実行委員会での企画立案等を通じて、社会でも生きる人材の育成を図る。
実 施 内 容	<p>【成人式】 主催：羅臼町(平成29年度より) ○式典</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会企画プレゼンテーション ・実行委員会製作ムービー上映 記念講演「社会人となる君へのメッセージ」 ・講師：五穀祭菓をかの6代目女将 榊 萌美 氏 ・式典及びプレゼンテーションは、羅臼町公式YouTubeを活用し生LIVE配信を実施。昨年度との変更点としてコロナの規制緩和に伴い来賓の入場も可能とした。 ・R4/4/1から民法の一部が改正され成人年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、成人式から20歳のつどいに名称を変更した。
事 業 費	500千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20歳の集い実行委員会を中心に企画から準備を進め、当日の式典及びプレゼンテーションの運営を通して人材育成が図られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年同じ取り組みではなく、その年の対象者(実行委員)にあった、アプローチや取り組みを検討する必要がある。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	社会教育課
事業目的・概要	地域の実情に即した社会教育計画の策定を行う。そのために、各種調査及び資料収集活動を行い、計画の遂行及び事業展開のための基礎資料とする。
実 施 内 容	<p>【社会教育計画及び各種調査研究】</p> <p>○単年度事業計画の策定及び各種施策の反省評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ R4/4月 ～単年度計画の発行 ・ R4/12月 ～予算編成に伴う事業反省評価を実施 ・ R5/3月 ～事業反省評価と新年度の事業計画(案)
事 業 費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第8次中期計画書に基づく事業実施と中間評価や予算編成に向けた反省評価を各種調査研究の結果を基に行うことで新規事業予算の獲得に繋げた。 ・ 社会教育主事については、現在職員1名が講習受講中であり、令和5年度中に社会教育主事の資格取得予定。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門職(司書・専任社会教育主事)の安定的な配置や採用を継続して求めていく必要がある。 ・ 第8次中期計画の最終評価と第9次中期計画の策定。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	社会教育課
事業目的・概要	生涯学習の観点から、当町の社会教育振興策を探り、地域に根ざした推進方策を立てる。
実 施 内 容	<p>【諸会議・社会教育委員の会兼図書館協議会】</p> <p>○社会教育委員の会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回会議 R4/4/27 11名 社会教育単年度計画について ・第2回会議 R4/5/20 9名 羅臼町図書館基本構想(案)について ・第3回会議 R4/8/17 10名 図書館改修工事基本設計について ・第4回会議 R4/12/16 9名 社会教育事業の進捗について ・第5回会議 R5/2/22 11名 図書館実施設計の進捗について ・第6回会議 R5/3/20 8名 単年度計画反省評価について <p>○根室管内社会教育委員連絡協議会総会(R4/7/25 書面会議)</p> <p>○北海道市町村社会教育委員長等研修会(R4/7/7~8 札幌市)</p> <p>○第61回北海道社会教育研究大会(留萌大会)兼全国社会教育委員連合北海道ブロック大会(R4/10/14 WEB会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者：4名 <p>○第44回全国公民館研究集会北海道大会兼第66回北海道公民館大会(R4/10/20~21 札幌市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者：2名 <p>○根室管内社会教育委員連絡協議会研修会(R5/1/27 WEB会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者：5名
事 業 費	632千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議を通して羅臼町の社会教育振興に関する事案について議論してきており、コロナ状況下においても役割を果たしている。 ・各種研修会に参加し、研鑽を深めている。 ・社会教育委員の会を通して、社会教育単年度計画を策定した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8次中期計画通りの事業実施に努め、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めるなど工夫した事業運営が必要である。 ・研修に参加する委員が少ないため、参加しやすいような環境整備や支援を行う必要がある。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	社会教育課
事業目的・概要	趣味活動、教養講座を通じて高齢者が生きがい感をもてる機会を提供する。
実 施 内 容	<p>【こまぐさ学級】 令和4年度こまぐさ学級参加者：18名</p> <p>○異世代交流及び社会奉仕活動を取り入れた事業を展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児・知床kids・高校生と交流 ・幼稚園へ手づくり雑巾寄贈 <p>①R4/4/26 開級式・オリエンテーション、よみきかせの練習 14名 ②R4/5/17高校生との交流1回目 13名 ③R4/6/14高校生と交流2回目 14名 ④R4/7/19羅幼・高校生と交流 15名 ⑤R4/8/23郷土資料館見学 12名 ⑥R4/9/13クラブ活動1回目 14名 ⑦R4/10/11クラブ活動2回目 16名 ⑧R4/11/1春幼と交流 16名 ⑨R4/12/10知床kidsと交流 16名 ⑩R5/1/24療法士のレクリエーション 10名 ⑪R5/2/14閉級式・終了パーティー 17名</p>
事 業 費	110千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年ぶりにすべてのプログラムを予定通り開催できた。全体の出席率は、84.4%であった。 ・単回ごとの出席率を見ると94.4%～55.6%となっていたが、出席率の低かった回は悪天候(大雪)と重なったため出席率が下がっており、これ以外では80%台後半で推移している。 ・またアンケート結果から現行のプログラム内容も楽しめている旨の記載もあり、現参加者の声掛けで新規の参加者も増加していることから、満足度は高いと判断し、ニーズに沿った内容であり、生きがい作りに繋がっていると評価した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に即したプログラムの企画開発を継続することが重要である。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	社会教育課
事業目的・概要	住民の生涯学習活動を推進するため、学校施設を開放し、学習の場として提供するための条件整備を図る。
実施内容	<p>【学校開放事業】</p> <p>○運営委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4/4月に書面会議にて実施。 ・利用団体すべて(13団体)から協議事項について賛成の確認を取り、承認完了報告を送付。 ・町内3校に開放事業謝礼として、それぞれ15,000円ずつ支出している。
事業費	75千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主運営、自主管理の運営委員会としては、一定の機能を果たしている。 ・利用団体の活動拠点として有効に利用されている。 ・自主管理、運営の運営委員会であることの意識は比較的高いことが伺える。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2年度末に知床未来中学校の家庭科室を学校開放個所として、R4年度より利用に向けて学校と調整を図るとしていたが、調整できていない。
評価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	図書館
事業目的・概要	限られた資源を有効活用するために、不要になった本や雑誌を町民に還元することにより再活用してもらい、この活動を通して図書館活動への関心をもってもらおう。
実施内容	<p>【第21回らうす古本市】</p> <p>○今までに除籍した本や町民から寄贈いただいた本を無料で還元する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、場所の確保及び還元する本の衛生面での管理などの難しさから、図書館ロビーで規模を縮小して実施。 ・会場：図書館ロビー ・日時：R5/3月から1か月程度 ・来館者数：289名
事業費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段、図書館への関心が低い町民に対し、図書館活動に関心を持ってもらい来館へ繋げるきっかけをつくることのできた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画している文化祭での開催が叶わなかった際に、他施設の巡回等での開催に速やかに移行できなかった。 ・文化祭が開催されなかった場合のことを想定して、開催の可否に左右されない古本市の開催方法の検討。
評価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	図書館
事業目的・概要	町民一人一人の資料要求にきめ細かく対応し、個人学習を支援する。
実 施 内 容	<p>【資料整備事業】</p> <p>○学校教育に必要な資料、高齢化に伴う大活字本の整備、社会情勢や教育に関する本や町民の生活課題に役立つ本、青少年の読書意欲を高める本、赤ちゃん絵本や子育てに関する本の充実、整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚資料の整備。 ・蔵書の新鮮化のために、価値を見極めながら除籍を行う。 <p>○学習支援の方法として、予約やリクエストサービスの充実、道内の図書館相互貸借の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・借受：21冊(うち町民用借受：21冊) <p>※R3年度：439冊 町民貸出：46冊</p>
事 業 費	2,376千円
成 果 又 は 課 題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道内図書館との相互貸借を活用し、予約やリクエストされた本への対応ができており、個人学習の支援に繋がっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新刊の定期受け入れを行い、魅力ある品そろえを保つことが必要。 ・また、それをより町民にみてもらえるかたちで周知する必要がある。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	図書館
事業目的・概要	市民の利便性を保持するため、資料整備及び蔵書検索機能の継続と充実を図る。
実施内容	<p>【蔵書検索システムの継続・オンラインシステムを活用した情報発信】</p> <p>○図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書検索システムの利用促進 ・1日平均300アクセス（蔵書検索ページ） ・図書館HPのコンテンツ「今日の1冊」にて所蔵資料をランダムに紹介する <p>○学校図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春松小学校 貸出実績：1,481冊（R3年度：1,642冊） 学校図書横断システムの運用 ・羅臼小学校 貸出実績：1,146冊（R3年度：730冊） システム使用による貸出、返却の開始 ・知床未来中学校 貸出実績：431冊（※R3年度 379冊） 学校図書横断システムの運用
事業費	1,189千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定通り進捗しており、町内3校でシステムを活用した貸出、返却体制を整えることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の利便性を高めるため、学校図書館と図書館の更なるネットワーク化を進め町全体で図書を共有できる体制づくりを進める。
評価	担当評価： B / 外部評価： B

所 管	図書館
事業目的・概要	読書活動に携わる既存団体を応援し、活動内容の魅力を高める。
実施内容	<p>【読み聞かせサークルの支援】</p> <p>○ぐりとぐらのえほんぽけっと(春松地区担当)、こぐまちゃんサークル(羅臼地区担当)との連携と支援</p> <p>○サークルごとのミーティングに図書館職員も参加するなど交流の場を設ける</p>
事業費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1団体は会員が1名減となったものの、年間の読書活動に対する支援体制を維持している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各サークルとの連携を強化するため、読み聞かせ等の際にサークルとの対話の機会の維持を図る。
評価	担当評価： B / 外部評価： B

【15-② 世代や立場などが異なる人々の絆づくり】

所 管	社会教育課
事業目的・概要	趣味的活動や資格取得等、各種講座を開催することで、実際生活に即した生きがい感のもてる学びの機会を提供する。
実施内容	<p>【各種講座】</p> <p>○ドローン講座～ドローンの飛行に関する知識の学習と飛行の基本操作 対象：高校生から一般まで / 講師：(株) AIRSTAGE</p> <p>①R4/9/17 場所：羅臼小学校 / 参加者：4名</p> <p>②R4/9/18 午前 場所：羅臼小学校 / 参加者：3名</p> <p>③R4/9/18 午後 場所：羅臼小学校 / 参加者：3名</p> <p>○外国語教室～地域おこし協力隊(ふるさと教育クリエイター)による語学講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羅臼ランゲージラボ(全体)：8回 ・「話せるテキスト」(中学生)：10回 ・洋書クラス(中学生)：24回 ・ビジネス英語関連(観光協会)：22回 ・一般英語(一般)：36回 ・スペイン語基礎(一般)：20回 ・English Running!! (ALT・一般)：3回 ・英語プレゼン・洋楽(一般・小学生)15回 ・Let' s try(春松小学校)：12回 ・英語インタビュー(一般)：30回 ・日常英会話(小学生)：24回 ・基礎中国語(中学生)：24回 ・英検2級・英語の仕事(高校生)：12回 ・観光船英語(観光船従事者)：5回 ・英語リーダー養成所：20回 ・一生英語コミュニティ：26回
事業費	745千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドローン講習受講者が、受講後機材を実際に購入し、趣味活動的に継続していることから生きがい作りに繋がったと評価できる。 ・外国語教室は地域おこし協力隊により、中国語やスペイン語も取り入れた語学教育として実施できた。基本的にはオンラインでのレッスンだが、対面での内容も増やし語学教育を行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民ニーズの把握のための調査が必要である。
評価	担当評価：B / 外部評価：A
委員からの質問・意見等	単年度計画等に英語教室を実施しているならば、外国語教室を実施しているということで当初目的を超える成果なのではないかと感じるため、外部評価としては、A評価とする。

【15-③ 防災教育の推進】

所 管	教育指導主幹
事業目的・概要	北海道実践的安全教育モデル構築事業の指定を受け、児童・生徒の安全確保の観点から、自然災害において、自ら身を守る能力の育成に向けた防災を含む安全教育の一層の充実を図る。
実 施 内 容	○一日防災学校 R4/6/29 羅臼高校 R4/9/1 羅臼幼稚園、春松幼稚園 R4/9/5、R4/9/9 羅臼小学校 R4/9/8、R4/9/15、R4/9/30 春松小学校 R4/9/22、R4/12/1 知床未来中学校
事 業 費	0千円
成果又は課題	【成果】 ・北海道実践的安全教育モデル構築事業に関わって、一日防災学校などを実施した後、防災意識が高まった幼児児童生徒の割合80%であった。 【課題】 ・成果を次年度以降にどう生かすかが課題である。
評 価	担当評価：A / 外部評価：A

【16-① 芸術文化活動に参加する機会や文化に触れる機会の充実】

所 管	社会教育課
事業目的・概要	町内の文化活動をしている個人・団体・グループが一堂に会し、日頃の活動成果の発表機会を提供し、活動の助長を図る。
実 施 内 容	<p>【羅臼町総合文化祭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年、羅臼町文化協会と共催して実施しているが、昨年に引き続き今年度も文化協会役員会にて「舞台部門は今年度も実施せず展示部門だけを実施」という判断となり、R4年度も羅臼町教育委員会の単独開催で実施。 ・出品者数：6団体4個人 <p>※ 展示期間については、当初1週間程度で予定していたが、生花を展示する団体より「1週間の展示では長いので期間を短くしてほしい」と意見があり、3日間での展示とした。</p>
事 業 費	105千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、全部門の開催とは至らなかったが、感染症対策が取れる展示部門を開催することができた。生け花や絵画等の展示作品について、コロナ禍でも最大限の発表機会の提供ができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存団体等の現況把握、自主的活動への支援が必要である。 ・新たな文化活動の発掘・支援の実施が必要である。
評 価	担当評価：C / 外部評価：C

所 管	社会教育課
事業目的・概要	多くの人に知られている著名人を講師に招き、現代社会に即応できるような知識・見聞を深める。または、生の優れた音楽を鑑賞する機会を提供する。
実 施 内 容	<p>【芸術文化鑑賞事業】</p> <p>○第4回うるとらうす！（木村香澄・吉田山田ライブ）</p> <p>開催日：R5/1/9</p> <p>場所：春松小学校体育館</p> <p>来場者：46名(生ライブ配信20名の視聴)</p> <p>開場：17:00 / 開演：17:30 / 終了 20:00</p> <p>入場料：前売当日ともに2,000円</p> <p>※ 社会人1名、高校生27名の実行委員会により開催</p>
事 業 費	1,700千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生の優れた音楽を鑑賞させる機会を提供することが出来た。 ・本事業については、事業の組み立てから開催まで、全て実行委員の自主的な取り組みで行われており、鑑賞の機会提供だけでなく、事業を通じた人との繋がりや新たな経験の場の提供となった。 ・ライブ配信を導入したことで、会場に行かなくても鑑賞出来るライブとなった。 ・目標来場及び視聴者数100名に対し、66名であり、目標達成には至らなかった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うるとらうす！を経験している社会人への実行委員としての参加の呼びかけや事業に関する情報発信に積極的に取り組む必要がある。 ・目標来場及び視聴者数100名に対し、66名であったことから、より多くの来場者数を確保するため町民ニーズの把握等の取組みが必要である。 ・事業課題の解決のため、実行委員会に継続的な指導助言をしていく必要がある。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	郷土資料館
事業目的・概要	文化財保護の観点から、その保存及び活用、各種事務運営の促進を図り、地域に根ざした推進方策を考える。 文化財保護調査委員会の開催及び北方領土専門家交流事業への協力
実施内容	<p>【諸会議】</p> <p>○文化財保護調査委員会議</p> <p>①第1回 R4/4/22 委員5名出席</p> <p>②第2回 R4/10/12 委員5名出席</p> <p>③第3回 R5/3/16 委員6名出席</p> <p>○北方領土専門家交流事業への協力</p> <p>①国後島での考古学的調査 ※中止</p> <p>②和歌山県資料調査：R4/11/15～11/18</p> <p>③富山県資料調査：R5/1/12～1/15</p> <p>④富山県北方四島歴史文化研究交流座談会</p> <p>「後世につなぐ歴史文化を語る」：R5/1/13</p> <p>・北方四島歴史文化研究交流フォーラム</p> <p>「未来につなぐ北方四島の歴史・文化」：R5/1/14</p>
事業費	41千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財保護調査委員については郷土資料館の常設展示室の開室、活用に関して積極的な意見・提案がなされている。 北方四島専門家交流事業については当館が保管する福井コレクションや、北方四島に係る歴史について新たな情報を得ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財地域保存活用計画策定について着手できていないが、周辺市町村でも策定中の町が出てきていることから、調査が必要である。
評価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	郷土資料館
事業目的・概要	国指定天然記念物の保護と生態、生育環境の調査、一斉調査を行なう。 指定鳥類保護監視員による通常監視、町内ワシ類の一斉調査及び営巣調査。
実施内容	【国指定天然記念物保護事業】 ○オジロワシ長期モニタリング調査協力 ①町内を5名の調査員が担当巣をモニタリング ②R5/1/17 集計会議(斜里町) ○町内オジロ・オオワシー一斉調査(R5/2/19)：323羽 ○監視員5名による天然記念物指定鳥類の通常監視
事業費	280千円
成果又は課題	【成果】 ・当初の予定通りに調査を実施して、生育環境等を把握し、保護活動に重要なデータを得ることができている。 【課題】 ・指定鳥類保護監視規則は50年以上前に制定されたもので現在指定鳥類を取り巻く環境と乖離している部分があり見直しが必要となってきている。
評価	担当評価：B / 外部評価：B
委員からの質問・意見等	調査員5名は、外部の方か。 ⇒担当：町内在住の方。

所 管	郷土資料館
事業目的・概要	平成27年度に国の重要文化財に指定された「北海道松法川北岸遺跡出土品」を確実に後世へ残すよう適切に保存・管理を行ないつつ、活用も図る。
実施内容	【国指定重要文化財保護事業】 ○指定品の現況調査 ○個別文化財保存活用管理計画の検討 ○レプリカの作成(3Dモデル含む) ・熊頭注口木製槽、熊頭木鎖、舟形木製品、ラッコ型骨角製品の4点(日本遺産事業) ○松法川北岸遺跡出土品を核とした文化財解説映像作成(日本遺産事業)
事業費	日本遺産事業は、16-①「郷土資料館運営事業(P87)」に含む
成果又は課題	【成果】 ・文化財の活用を図るための、レプリカ、映像などのツールを整備することができている。 【課題】 ・指定品に係る中長期的な保存管理の計画作成ができおらず、将来的に必要な修理計画の検討等が必要である。
評価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	郷土資料館
事業目的・概要	北海道指定天然記念物「羅臼のひかりごけ」、「羅臼の間歇泉」を調査し保護を図る。 北海道指定天然記念物「羅臼のひかりごけ」、「羅臼の間歇泉」のモニタリング調査及び活用。
実 施 内 容	<p>【道指定天然記念物保護事業】</p> <p>○羅臼のひかりごけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①資料館内での展示及び普及活動 ②屋外ヒカリゴケ観察所の運営 ③羅臼のひかりごけ保存会との連携による保護事業の実施 <p>・2回実施</p> <p>○羅臼の間歇泉</p> <p>・噴湯調査 3回実施</p>
事 業 費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外ヒカリゴケ観察所では、光量の調整等により7月下旬から9月上旬の間、広範囲でヒカリゴケを維持することができている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外ヒカリゴケは町公式SNS等で周知を図っているが光環境改善のために入口がわかりにくくなるなど、観察者が少なかった。今後あり方の検討が必要である。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	郷土資料館
事業目的・概要	史跡2件(旧植別神社跡、久右衛門の澗跡)、無形文化財1件(知床いぶき樽)、有形文化財1件(弘化の釣り鐘)の保護を図る。
実施内容	<p>【町指定文化財保護事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知床いぶき樽保存会への協力 ○知床いぶき樽展示室の開設 <ul style="list-style-type: none"> ①展示準備、パネル製作 ②常設展示室開室R4/10/15、公開講座の実施 ○新指定となった文化財の活用 <ul style="list-style-type: none"> ①学校授業での活用 ②副読本への掲載 ○旧植別神社跡の草刈り <ul style="list-style-type: none"> ・町内会と神社祭に併せて合同実施
事業費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知床いぶき樽の保存普及のために、常設展示室を新たに開設している。 ・また、小学校の学習発表会前に同展示室の学校利用があるなど、資料館の新たな学校利用につながった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民に対して町指定文化財に対する継続的な周知が必要である。
評価	担当評価：A / 外部評価：A

所 管	郷土資料館
事業目的・概要	遺跡の保護・保存を図ると共に、事前協議が必要なものに関しては調査を実施する。発掘調査が必要なものは、発掘を実施し、記録として保存する。
実施内容	<p>【埋蔵文化財保護事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○埋蔵文化財事前協議の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・4件 ・内A調査3件、工事立会調査2件。 ○モイレウシ川南岸遺跡一般分布調査 ※中止 ○麻布町タッカリウス川南岸遺跡詳細分布調査の実施(R5/6月～8月)
事業費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財保護のための事前協議での事業者に対する指導を行っており、必要となった各種調査を早急に変更実施できている。 ・また、これに伴う埋蔵文化財包蔵地の台帳整備が図れている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知床半島先端部地域において、遺跡可能性地が複数分布しており、踏査調査等による分布確認が必要である。
評価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	郷土資料館
事業目的・概要	自然や歴史的的文化財を多く残す羅臼町において、それらに間近に接し郷土への認識を深める。
実施内容	<p>【郷土資料館運営事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常管理 ○日本遺産推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ①ロビー展の実施 ②各種啓発資料の配布 ③活用資料、施設整備 ○学校授業での活用 <ul style="list-style-type: none"> ①展示解説及び授業受け入れ 8件 ②高校での知床学授業 8回 ○観光資源としての各種調査 <ul style="list-style-type: none"> ①モニターツアーの受け入れ 4件 ②アンケート調査はコロナ禍のため休止 ○来館者への展示解説 <ul style="list-style-type: none"> ・学校を除き7団体 ○台帳作成は未実施
事業費	8,742（日本遺産事業含む）
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が収まってきた10月以降、学校利用がそれ以前に戻るとともに、新たな利用も出てきた。 ・個人での来館者はコロナ禍以前に戻りつつある。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校での利用が今後も継続されるか不透明である。 ・町外及び道外への資料館周知は、単独では困難であり、関連機関との連携や、日本遺産事業との連携した取り組みが必要である。
評価	担当評価：B / 外部評価：B
委員からの質問・意見等	<p>授業受け入れ8件は町内か。</p> <p>⇒担当：町内のみ。</p> <p>課題に記載がある「今後も継続されるかは不透明である」は不安と感じる。</p> <p>⇒担当：今後も継続されるかという部分では見えにくいため、新たに利用手引きを作成し、4月当初に各学校に配布済みである。</p>

所 管	郷土資料館
事業目的・概要	展示保管環境の整備を図るとともに、利用しやすい施設に向けた施設整備を図る。
実施内容	<p>【郷土資料館管理事業】</p> <p>○常設展示室(北方四島展示室・知床いぶき樽展示室)の開設</p> <p>・開設：R5/10/15～</p> <p>○郷土資料館整備</p> <p>①フリーwi-fi整備</p> <p>②各展示室導入解説の多言語化</p> <p>英語、韓国語、中国語(簡体)、中国語(繁体)の4か国語で10パネル</p>
事業費	6,881千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <p>・日本遺産推進事業において、インバウンドに対応した環境整備を図ることができている。</p> <p>【課題】</p> <p>・蛍光灯は安定器等の不具合のあるものが増えてきており、LED化への改修が必要となってきている。</p>
評価	担当評価：B / 外部評価：B
委員からの質問・意見等	<p>インバウンドの利用はどのくらいあるのか。</p> <p>⇒担当：4月～6月に多くみられた。各展示室にパネルを設置し、専用アプリで読み取ると各種言語対応できるようにしている。</p>

所 管	郷土資料館
事業目的・概要	各種事業と連携し、実物や自然に直接触れることを核とした、ふるさと教育を実施する。
実施内容	<p>【社会教育事業との連携】</p> <p>○ふるさと少年体験教室知床kids</p> <p>①第1回:ヒグマクルーズ(R4/6/18)</p> <p>②第5回:探検60年前の羅臼(R4/10/23) ※荒天のため勾玉づくり</p> <p>○こまぐさ学級</p> <p>・昔の羅臼市街地の様子(R4/8/23)</p> <p>○ふるさと少年探検隊</p> <p>・発掘調査プログラム ※中止</p>
事業費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <p>・こまぐさ学級については、回想法の手法を取り入れたプログラムを実施でき好評であった。</p> <p>【課題】</p> <p>・こまぐさ学級は参加者が固定化されていることから常に新たなプログラムの導入が必要である。</p>
評価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	郷土資料館
事業目的・概要	ふるさと教育推進のための、魅力あるプログラムの充実と、その活用を推進する。
実 施 内 容	【体験活動プログラム推進事業】 ○体験活動プログラムの配布
事 業 費	0千円
成果又は課題	【成果】 ・各種事業において新規プログラムを3つ作成し、2つを実施することができた。 【課題】 ・体験活動プログラムが充実してきたことから学校授業での活用を視野に、新たな配布資料の検討が必要である。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

【16-② 地域の文化活動を支える人材の育成】

所 管	社会教育課
事業目的・概要	団体をリードする指導者の発掘・養成を推進し、自主自立を目指した継続的な支援・育成を図る。
実 施 内 容	<p>【社会教育関係団体等の支援】</p> <p>○社会教育関係団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 羅臼町文化協会 ・ 羅臼町スポーツ協会 ・ 羅臼町スポーツ少年団本部 ・ 羅臼町子ども会育成協議会 ・ 羅臼町女性団体連絡協議会 ・ 羅臼町PTA連合会 ・ NPO法人羅臼スポーツクラブらいず <p><その他団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 羅臼町活性化ワーキンググループ ・ Join-Rausu美活塾、他
事 業 費	1,220千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 概ね各団体ともに自主的に活動がなされおり、行政が資料作成等の事務的な手助けをする機会は減少してきている。スポーツ協会及びスポーツ少年団は北海道や管内事務を除き、町内での事業や役員会は自主運営することができた。 ・ 各団体の役員会等に出席し、都度指導助言を行い団体育成へ繋げた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体の実情に応じた自主・自立を目指した活動支援の継続。 ・ 団体リーダーの発掘及び育成の継続。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

【17-① ライフステージに応じたスポーツ活動の推進】

所 管	社会教育課
事業目的・概要	練習成果発表の場及び町民相互の交流機会の提供を図る。
実 施 内 容	<p>【各種関連事業、総合型地域スポーツクラブ協働事業、クナシリ眺望駅伝大会】</p> <p>○根室管内スポーツ交歓大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4/9/4 別海町 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 <p>○クナシリ眺望駅伝競走大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4/10/9 羅臼町内 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 <p>○根室管内親睦ミニテニス交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4/11/26 別海町 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 <p>○総合型地域スポーツクラブ協働事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・随時 <p>○スポーツ推進委員による雪合戦大会（オジロまつり内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R5/2月 羅臼小学校グラウンド ※主催の人手不足による中止
事 業 費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどが新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったが、総合型地域スポーツクラブ協働事業は規模を縮小しながらも実施し、参加者間の交流機会の提供をすることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少や競技人口の減少に伴い、競技によっては継続した活動が出来ない場合もあるため、競技人口及びスポーツに親しみのある人口の増加を図る必要がある。
評 価	担当評価：C / 外部評価：C

所 管	社会教育課
事業目的・概要	地域リーダーやスポーツ活動をけん引する指導者の発掘・養成を推進する。
実施内容	【指導者養成、リーダー発掘養成事業、地域スポーツ指導者の発掘及び養成】 ○各種指導者研修会、リーダー研修会の参加奨励 ○近隣市町が開催する講演・研修会の情報収集及び情報提供
事業費	0千円
成果又は課題	【成果】 ・各種指導者研修会やニュースポーツ講習会、リーダー研修会についてスポーツ協会及びスポーツ少年団本部を通して各所属団体への情報提供を行った。 【課題】 ・団体の実態に沿った指導者養成事業の展開が必要である。 ・少年団によっては、指導者の確保が十分でないため、早急に資格をとるよう指導する必要がある。 ・研修会等の情報提供を行ったが、参加者が少ない状況であるため、情報提供の強化や研修の重要性を広く周知するなど、参加者を増やす取り組みが必要である。
評価	担当評価：C / 外部評価：C

所 管	社会教育課
事業目的・概要	各地域におけるスポーツ・レクリエーション活動を活発化させるとともに、自主活動の促進を図る。
実施内容	【指定管理委託事業】 ○ノルディックウォーキング講習会 日時：R4/10/2 / 会場：熊越の滝 参加者：6名 ※講習会后、参加者による自主的な活動は実施されていない。 ○高齢者スポーツ出前教室 日時：通年 / 会場：共栄町会館、礼文町北会館 内容：高齢者COTを中心に計画 ※新型コロナウイルスの影響により中止。
事業費	0千円
成果又は課題	【成果】 ・指定管理委託事業については新型コロナウイルス感染症の影響により、事業は縮小しているが、ノルディックウォーキング講習会は実施することができた。 ・講習会を開催したが実施後の参加者による自主的活動には繋がっていない。 【課題】 ・社会体育の現場である町民体育館の指定管理者の「総合型地域スポーツクラブらいず」との連携、協力の強化を継続して図る必要がある。
評価	担当評価：C / 外部評価：C

【17-② 市民の生涯スポーツへの関心と意識の向上】

所 管	社会教育課
事業目的・概要	社会体育振興の視点から当町の体育・スポーツ並びに健康・体力づくりの振興方策を探り、地域に根ざした社会体育の推進に努める。
実 施 内 容	<p>【諸会議(スポーツ推進委員会)】</p> <p>○スポーツ推進委員会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回会議 R4/5/16 7名出席 社会教育事業単年度計画について ・第2回会議 R5/1/24 4名出席 中学校部活動の地域移行について ・第3回会議 R5/3/17 4名出席 単年度反省評価について <p>○管内スポーツ推進委員総会・研修会(R4/5/27)</p> <p>※総会は書面会議、研修会は中止</p> <p>○全道スポーツ推進委員研究協議会(R4/10/14～15 釧路市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3名出席 <p>○管内スポーツ推進委員協議会役員会・研修会(R4/12/18 中標津町)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により書面で実施</p> <p>○オジロまつり雪合戦大会(R5/2月)</p> <p>※オジロまつり中止のため未実施</p>
事 業 費	251千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会は新型コロナウイルス感染症の影響により管内スポーツ推進委員会主催のものは全て中止となったため、全道スポーツ推進委員研究協議会のみ参加となった。 ・各種会議は開催時期が遅れたことや、おじろまつり中止に伴い、開催回数が3回であった。 ・スポーツ推進委員会において、全道スポーツ推進委員研究協議会での研修内容の共有をすることで、不参加であった委員に現在の北海道内の状況や最新情報などを提供し、今後のスポーツ振興に繋げた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会体育の推進に繋がるスポーツ推進委員の活動内容を会議での意見交換等から検討していく必要がある。
評 価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	社会教育課
事業目的・概要	各種調査により、社会体育事業を効果的に実施する方策を検討する。
実 施 内 容	<p>【調査・研究(体育館利用者懇談会)】</p> <p>○体育館利用者懇談会(NPO法人羅臼スポーツクラブらいう)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理業者であるらいうが行っている利用者懇談会の議事録の報告で、利用者の意見要望を把握している。 <p>○運動適性テスト・新体カテストの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響や新体カテストの測定種目の変更により、屋内での実施が困難になったことから、令和4年度は実施できなかった。 <p>○新体カテスト実施によるデータ収集</p> <p>※上記テストの中止により未実施</p>
事 業 費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人羅臼スポーツクラブらいうが行っている体育館利用者懇談会で出た利用者の意見要望の把握をし、対応することで設備の利便性向上に繋がった。 ・新型コロナウイルス感染症の影響や、新体カテストの測定内容の変更もあり、実施することができなかったため成果なし。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新体カテストに新たな種目が加わったことで、測定側の経験不足が懸念されるため、測定方法等の研修が必要となる。 ・新体カテストを日中の屋外で開催する必要があるため、開催場所や時間等をターゲット層に沿った形で整理する必要がある。
評 価	担当評価：C / 外部評価：C

所 管	社会教育課
事業目的・概要	各スポーツ施設の整備および効果的な開放の促進を図る。
実 施 内 容	<p>【町内施設の有効活用、体育施設の維持・管理】</p> <p>○羅臼町民体育館指定管理者(R4年度～R6年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者業務 ・NPO法人総合型地域スポーツクラブらいずへ委託
事 業 費	26,660千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者と連携し、利用者ニーズの把握に努め、トレーニングルームの器具の拡充や高さ調節が可能なバスケットゴールの整備をすることで、利用者の利便性に繋げた。 ・一部公民館機能を持たせて施設整備とした会議室や調理実習室、プレイルームなど多くの世代の利用に繋がっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更に利用しやすい拠点づくりを目指して利用者団体等と意見交換を継続的に実施する必要がある。 ・らうすぽ以外の拠点も含めて羅臼町全体の施設を有効活用し、スポーツ活動や芸術文化活動の停滞とならないよう工夫が必要である。
評 価	担当評価：B / 外部評価：A
委員からの質問・意見等	成果を見る限り、とても効果的な開放の促進と考えられるため、外部評価としては、A評価とする。

所 管	社会教育課
事業目的・概要	団体をリードする指導者の発掘、育成を推進し、自主自立を目指した継続的な支援、育成を図る。
実施内容	<p>【スポーツ団体の育成・支援、スポーツ協会加盟団体・スポーツ少年団加盟団体の育成及び支援、総合型地域スポーツクラブとの連携及び支援】</p> <p>○羅臼町スポーツ協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各加盟団体による町民大会(通年) <p>○羅臼町スポーツ少年団</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度活動費補助 ・根室管内スポーツ少年団交流事業 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 <p>○NPO法人羅臼スポーツクラブらいず</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興を展開していくための指導・助言
事業費	0千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業があるものの各団体の会議等に同席し組織運営や事業内容に関する助言や支援を行った。 ・スポーツ協会、スポーツ少年団の役員会などは一部自主運営が定着しつつある。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会及びスポーツ少年団の運営に関し可能な限り自主運営ができるよう継続して支援、助言を行う必要がある。
評価	担当評価：B / 外部評価：B

所 管	社会教育課
事業目的・概要	各種スポーツ団体がより活発な自主活動を展開するための経費を補助する。
実施内容	<p>【各種補助事業、各種教育団体派遣助成事業】</p> <p>○社会教育関係団体活動費補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羅臼町スポーツ協会(250千円) ・羅臼町スポーツ少年団本部(220千円) ・羅臼町中学校体育連盟(150千円) <p>○各種管外大会派遣費助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・14件申請：1,487千円 <p>○根室管内スポーツ交歓大会補助 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>○クナシリ眺望駅伝競走大会補助 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>
事業費	2,570千円
成果又は課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体への補助は、大会運営費への補助を除き、概ね計画どおりに支出し、有効に活用されている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成決定までのスムーズな事務処理の徹底。
評価	担当評価：B / 外部評価：B

2 学校教育に係わるその他の取組み

(1) 主な調査

調査月	調査名	担当課
令和4年4月	標準学力調査（小学校）	学務課
令和4年4月	標準学力調査（中学校）	学務課
令和4年4月～6月	小中学校第1回i-check実施	学務課
令和4年11月	小中学校第2回i-check実施	学務課

(2) いじめ・不登校への取組み

令和4年度のいじめについての報告は、小学校57件、中学校9件。不登校は、小学校は4名、中学校は6名が不登校傾向にありましたが、家庭と連携をとりながらオンライン学習を活用するなど、学習をサポートしました。

(3) 教育委員会が行った主な教職員の研修等

研修会名	開催月日等	講師等
道研地域連携研修会	○令和4年7月27日 ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ・デジタル教科書を活用した授業の構築	[講師] 北海道立教育研究所 主任研究研修主事 浅部 航太氏 研究研修主事 熊坂 元宏氏
羅臼町幼稚園管理職 & リーダー研修会	○令和4年10月5日 ・スタートカリキュラムの充実	[講師] 北海道教育庁根室教育局 教育支援課長 森下 智之氏
羅臼町特別支援教育研修会	○令和4年6月6日 ・構造化された支援について ○令和4年11月8日 ・感情コントロールの支援	[講師] 発達障害者支援道東地域センター センター長 丸山 芳孝氏

(4) 各種学習支援

事業名	開催月日	講師等
アフタースクール事業	○1回目 令和4年9月10日、11日 ○2回目 令和4年11月12日、13日	北海道教育大学釧路校

3 教育団体等に対する補助金

(単位：千円)

課名	団体名/補助金名	予算額	決算額
学務課	羅臼町幼小中高一貫教育研究協議会	3,650	2,650
	羅臼町特別支援教育協議会	200	200
社会教育課	羅臼町子ども会育成協議会	200	200
	羅臼町女性団体連絡協議会	100	100
	羅臼町文化協会	250	250
	知床いぶき樽保存会	0	0
	羅臼町スポーツ協会	250	0
	羅臼町スポーツ少年団本部	220	151
	芸術文化鑑賞事業費補助	1,700	1,700
	20歳学園補助金	500	496
	芸術文化活動奨励事業補助金	100	0
	各種体育団体派遣費助成(8件)	1,500	1,487
	社会教育関係団体派遣費助成金(1件)	962	791

第9章 所管施設の利用状況

【図書館】年度別貸出冊数

(単位：冊)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 ・令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
貸出冊数(個人)	19,275	20,431	15,759	9,351	8,670	9,969	12,867
うち児童書	12,146	13,336	10,960	6,346	5,257	6,350	8,382
比 率	63.01	65.27	69.55	67.86	60.63	63.70	65.14
住民一人当たり 個人貸出冊数	3.59	3.92	3.10	1.95	1.87	2.22	2.96

※令和2年4月1日より図書館として役場1階ロビーで開設。

【郷土資料館】年度別利用者数

(単位：人)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 ・令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
子ども	465	449	422	428	117	83	254
大人	1,475	1,287	1,499	1,513	1,134	787	1,242
総利用	1,940	1,736	1,921	1,941	1,251	870	1,496

【体育館】年度別利用者数

(単位：人)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 ・令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
小学校以下	6,319	6,506	6,482			5,942	9,888
中学校	4,166	5,408	3,953			3,051	4,761
高校生	1,529	1,160	1,128			1,279	2,555
一 般	10,147	10,675	8,401			9,626	15,134
総利用	22,161	23,748	19,964			19,898	32,338

※平成31年3月6日から休館中。令和3年7月1日からリニューアルオープン。

【公民館】年度別利用者数

(利用団体単位：件
利用者 単位：人)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度 ・令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用団体	741	961	838				
利用者	12,655	18,261	13,235				

※平成31年3月6日から休館となり、令和元年12月19日解体

第10章 関係規定

○羅臼町教育事務執行状況の点検及び評価等に関する規程

平成21年3月26日

教育委員会規程第1号

改正 平成27年3月20日教委規程第3号

羅臼町教育事務執行状況の点検及び評価等に関する規程

(趣旨)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第26条第1項の規定に基づき、羅臼町教育委員会（以下「委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価等に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員会の権限に属する事務)

第2条 この規程において、委員会の権限に属する事務とは、法第21条各号に規定された事務をいう。

(点検及び評価)

第3条 委員会は、前条に規定する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を実施するものとする。

2 前項の点検及び評価は、毎年度、前年度の事務の管理及び執行の状況について行うものとする。

3 第1項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

(報告書の作成)

第4条 委員会は、前条の点検及び評価の結果に基づき、報告書を作成しなければならない。

2 前項の報告書の様式は、教育長が別に定める。

(議会への提出)

第5条 委員会は、前条の報告書を羅臼町議会に提出するものとする。

(公表)

第6条 報告書は前条の規定に基づく羅臼町議会へ提出後、遅滞なく公表しなければならない。

2 前項の公表は、次の各号に掲げる方法のうち、一以上の方法によって行うものとする。

(1) 羅臼町教育委員会公告式規則（昭和31年教育委員会規則第5号）に規定する掲示場及び公衆の見やすい場所に掲示する方法

(2) 羅臼町広報紙に掲載する方法

(3) インターネットを利用して閲覧に供する方法

(委任)

第7条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める。

附 則

この規程は、公布の日から施行する。

附 則（平成27年3月20日教委規程第3号）

(施行期日)

この規程は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号。以下「改正法」という。）の施行の日（平成27年4月1日）から施行する。

○羅臼町教育事務執行状況の点検及び評価等に関する実施要綱

平成21年3月26日
教育委員会訓令第1号

羅臼町教育事務執行状況の点検及び評価等に関する実施要綱

(趣旨)

第1条 羅臼町教育事務執行状況の点検及び評価等に関する規程(平成21年教委規程第1号)第7条の規定に基づき、この実施要綱を定める。

(基本的な方針)

第2条 社会経済情勢の変化や町民ニーズに適切に対応し、教育委員会が策定した計画の着実な推進を図るため、事務の点検及び評価を行い、今後の施策展開の基本的な考え方や方向性などを明らかにするとともに、その結果を公表し町民に対する説明責任を果たすものとする。

(点検及び評価の対象)

第3条 事務の点検及び評価の対象は、次の各号に掲げる事務とする。

- (1) 教育委員会の活動状況
- (2) 教育行政に関わる規則・計画の策定状況
- (3) 教育関係団体に対する指導・助言・援助等の状況
- (4) 町民に対する情報提供の状況
- (5) その他教育委員会が実施する事務全般の状況

(点検及び評価の視点)

第4条 事務の点検況及び評価の視点は、次のとおりとする。

- (1) 教育委員会の活動状況の現状と課題及び今後の取組み方向
- (2) 主要な教育施策及び予算事業の実施状況

(点検及び評価の実施方法)

第5条 事務の点検況及び評価の実施方法は、次の各号に定める方法による。

- (1) 前年度(報告年度の前年)に実施した事務について教育行政評価調書(様式1)により評価を行うものとする。
- (2) 事務の点検況及び評価を行うにあたっては、羅臼町教育委員会外部評価委員会の意見を聴くものとする。
- (3) 教育長は、評価調書を基に、事務の点検況及び評価の結果に関する報告書案を作成し、教育委員会の会議に付議するものとする。

(点検及び評価の結果の反映)

第6条 事務の点検況及び評価の結果については、重点施策の展開、予算編成、組織機構改正、事務事業の見直し等の事務改善など、教育行政のあらゆる分野に反映させるものとする。

附 則

この実施要綱は、公布の日から施行する。

○羅臼町教育委員会外部評価委員会設置要綱

平成21年3月26日
教育委員会訓令第2号

羅臼町教育委員会外部評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 羅臼町教育委員会の権限に属する事務の点検及び評価等に関する規程(平成21年教育委員会規程第 号)第3条第3項の規定に基づき、羅臼町教育委員会外部評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事務を所掌する。

- (1) 教育委員会が実施した施策又は事業の点検及び評価に関し意見を述べること。
- (2) その他委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内で組織する。

- 2 委員は、教育に関し識見を有する者のうちから教育長が委嘱する。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選によりこれを定め、副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときはその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 4 委員会は、必要があると認めるときは、会議の委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聞くことができる。
- 5 委員会の会議は原則公開できるものとする。ただし、公開することが相当でないと委員会が認めるときはこの限りでない。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会学務課総務管理係において行う。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。